

# MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

## Diamondcrysta WIDE

### RDT232WM-Z シリーズ (AX921)

## 取扱説明書



**HDMI**<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」と「ユーティリティーディスク(CD)」は、「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6, 16, 54参照
- この取扱説明書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

#### 製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage)

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全のために必ずお守りください

P8 使用上のお願い

P10 各部のはたらき

P14 使用の準備

P28 機能

P45 困ったとき

P52 付録

「ディスプレイ」のホームページ: [www.MitsubishiElectric.co.jp/display](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/display)

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

#### 【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意: 法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。(画面の [PCリサイクルマーク申込](#) からお入りください。)

[www.pc-eco.jp](http://www.pc-eco.jp)

## ご使用の前に

ご使用の前に	3
何ができるの？	3
付属品の確認	4
本書の見かた	4

## 安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください	5
-----------------	---

## 使用上のお願い

使用上のお願い	8
ディスプレイの上手な使い方	8

## 各部のはたらき

各部のはたらき	10
本体前面	10
本体背面／側面	11
リモコン	12
リモコンの取り扱い	13

## 使用の準備

使用の準備	14
使用するための流れ	14

[準備 1] ディスプレイを組立てる	15
スタンドを組立てる	15
完成したスタンドを本体に取り付ける	15
ブロックネックスタンドの特長	16

[準備 2] スタンドの後部ベースを取り外し 壁に寄せる	16
---------------------------------	----

[準備 3] ディスプレイとコンピューター (PC) (以下コンピューターと PC は同義語として使用する) を接続する	17
--	----

1 台のコンピューターを接続	17
2 台のコンピューターを接続	17
3 台～ 4 台のコンピューターを接続	18
コンピューターのオーディオ出力端子と接続	19

[準備 4] ディスプレイと AV 機器を 接続する	20
-------------------------------	----

[準備 5] ヘッドホンを接続する	21
-------------------	----

[準備 6] 電源コードを本機に接続する	21
----------------------	----

[準備 7] ケーブルをまとめる	22
------------------	----

[準備 8] 電源プラグのアースリード線を 接続する	22
-------------------------------	----

[準備 9] 電源プラグを AC100 V 電源 コンセントに接続する	22
--	----

[準備 10] 設置する	23
--------------	----

[準備 11] 画面の角度を調節する	23
--------------------	----

[準備 12] 画面調節	24
自動調節をする (D-SUB 入力するとき)	25

[準備 13] Windows® セットアップ情報	26
---------------------------	----

[準備 14] 省エネ設定をする	27
ECO 設定の変更	27
ECO メーターの表示	27

## 機能

OSD 画面の構成	28
-----------	----

OSD の基本操作	29
-----------	----

グループの構成	30
---------	----

OSD 機能一覧	31
----------	----

工場プリセットタイミング	43
--------------	----

その他の機能について	44
------------	----

## 困ったとき

故障かな?と思ったら	45
------------	----

本機を廃棄するには	50
-----------	----

保証とアフターサービス	51
-------------	----

個人情報の取り扱い	51
-----------	----

## 付録

再梱包するとき	52
---------	----

市販のアームを取り付けるとき	53
----------------	----

用語解説	55
------	----

仕様	57
----	----

さくいん	58
------	----

## 何ができるの？

### 動画、なめらか、クッキリ

#### 倍速クリアピクチャー → P31

60コマ/秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120コマ/秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

#### 超解像（画像変換）技術 → P31, P38

超解像設定により、静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧いただけます。

超解像レベルは、0（オフ）～100の10ステップの10レベルからお好みの状態になるように設定可能で、各入力別、DV MODE別に独立して設定することができます。

#### ダイナミックコントラスト（Dコントラスト） → P31

DV MODEの詳細設定画面より、ダイナミックコントラストのレベルを設定することができます。コントラスト感を改善して鮮明な映像にします。各入力別、DV MODE別に独立して設定することができます。

### 24コマコンテンツもなめらか表示

#### シネマモード → P31

フィルム映像（24コマ）の表示モードをお好みにより選択できます。「フィルム」を選択した場合、フィルム映像の動きを忠実に再現します。「なめらか」を選択した場合、フィルム映像の動きをなめらかに表示します。

### コンピューターの画面で作業しながらビデオ画面を視聴したい

#### 2画面表示機能 → P37

親画面の中に子画面を表示する2画面表示機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示したりすることができます。DVI-D入力とHDMI入力の組み合わせも可能です。（HDMI1入力とHDMI2入力の組み合わせでは2画面表示機能は使用できません。）子画面のみに超解像技術を適用させることも可能です。

#### ギガクリア・ウインドウ

付属の専用ソフトを使用することで、PC画面上の任意の場所を選択し、その場所のみに超解像技術を適用することが可能です。

### コンテンツに合った適切な画質を簡単に設定

#### DV MODE (Dynamic Visual MODE) → P31

映画、ゲーム、写真、文書など、表示する内容に合わせた適切な画質を7つのモードからお選びいただけます。

### 多彩な入力端子を装備

#### <PC接続> → P11, P17

ミニD-SUB15ピンコネクタ（アナログ接続）、DVI-Dコネクタ（デジタル接続）、HDMIコネクタ（デジタル接続）およびミニジャック（音声接続）を装備しています。

#### <AV接続>

#### HDMI入力端子 x 2装備 → P11, P20

2台のAV機器を市販のHDMIケーブルで接続することができます。

#### 映像入力端子（D5端子）を装備 → P11, P20

AV機器のD端子出力を市販のD端子ケーブルで接続すると、AVタイミングの映像信号を表示することができます。

### リモコンによる簡単操作

#### リモコン付属 → P12, P13

付属のリモコンでスイッチ操作が容易になりました。

### ねころびながら視聴したい

#### ルックアップモード → P32

画面を下方向から視聴する場合の画質を改善、ねころびながら快適な映像を楽しむことができます。

### 精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

#### 10ビットガンマ機能 → P55

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

### クリアな高音質サウンド

#### DIATONE® リニアフェイズ技術

スピーカーから出力される音の周波数ごとの音圧や伝達時間などをリアルタイムに解析し、補正特性を加えるDIATONE® リニアフェイズ技術を採用。高音質なデジタル音声をクリアに再現します。

### 明るさ調節機能付き電源ランプ

#### LEDブライツネス調節機能 → P41

映画の暗いシーンを見る時など視聴の妨げにならないように電源ランプの明るさを下げることができます。

### 省エネで節約

#### 明るさセンサー搭載 → P10, P41

感知した室内の明るさに応じて、自動的に室内が明るい時は明るく、室内が暗い時は暗くなるように画面の明るさを調節します。

目の疲れを軽減し、消費電力も抑制することができます。

#### ECO Professional機能 (ECO PROF.) → P27, P40

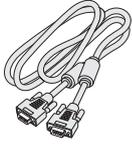
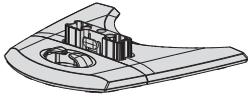
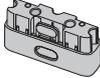
ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

#### パワーマネージメント機能 → P44

スリープモードおよびオフモード時の待機電力は、1W以下です。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。  
 万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

<p>セットアップガイド</p> 	<p>ユーティリティディスク                  (取扱説明書、テストパターン、                  ギガクリア・ウインドウソフト)</p> 	<p>電源コード                  AC100V専用</p>  <p>本機専用です。安全のため、                  他の機器には使用しないでください。</p>	<p>オーディオケーブル</p> 	<p>リモコン/                  単4形乾電池2本</p> 
<p>信号ケーブル                  DVI-D-DVI-D                  (デジタル接続用)</p> 	<p>ミニD-SUB15ピン-                  ミニD-SUB15ピン                  (アナログ接続用)</p> 	<p>ベーススタンド</p>  <p>保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)</p>	<p>ブロックネック                  (高さ調節用 3個)</p> 	

本書の見かた

本書の表記のしかた

- お願い** : 取扱い上、特に守っていただきたい内容
- お知らせ** : 取扱い上、参考にしていただきたい内容
- PXX** : 参考にしていただきたいページ
- Win/Mac** : Windows®とMacintosh両方に関わる内容
- Win** : Windows®のみに関わる内容
- Mac** : Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

- やりたいことから探す→「何ができるの?」 → P3
- 言葉と意味で探す→「用語解説」 → P55
- もくじで探す→「もくじ」 → 表紙, P2
- さくいんで探す→「さくいん」 → P58

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準 (★★☆ 2010年度版) を満たしています。  
 詳細は、Webサイト: [www.pc3r.jp](http://www.pc3r.jp) をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。  
 「J-Moss (JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況についての情報を公開しています。  
 詳細は、ウェブサイトを[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment) をご覧ください。  
 形名: RDT232WM-Z (BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

VERSEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONE、ECO Professionalは、三菱電機株式会社の登録商標です。  
 Microsoft、Windows Vista、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。  
 HDMI、HDMIロゴおよび、High-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。  
 その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ  
ご使用の前に  
安全のために...  
使用上のお願い  
各部のはたらき  
使用の準備  
機能  
困ったとき  
付録  
解用説  
いさんく

# 安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

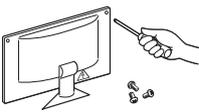
 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわない		必ず指示に従っておこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する

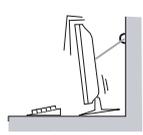
● ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

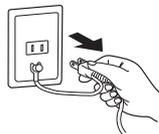
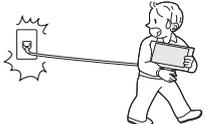
## 警告

<b>万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!</b>			
異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。			
 プラグを抜く			
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない   火災・感電の原因になります。	 使用禁止	裏ぶたをはずさない   内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。	 高圧注意 分解禁止
修理・改造をしない けが・火災・感電の原因になります。		 修理・改造禁止	
異物をいれない 特にお子さまにご注意 通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。  万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	 禁止	風呂場や水のかかるところに置かない  水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。	 水ぬれ禁止
キャビネットを破損したときは使わない   火災・感電の原因になります。		 使用禁止	
アースリード線を接続する  アースリード線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。	 アースリード線を接続する	アースリード線を挿入・接触しない   電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。	 禁止
雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない 感電の原因になります。		 接触禁止	
 ピカッ ゴゴ			

もくじ  
 ご使用の前に  
 安全のために...  
 使用上のお願い  
 各部のき  
 使用の準備  
 機能  
 困ったとき  
 付録  
 解用説語  
 いさんく

# 警告

取り扱いについて	
<p><b>ポリ袋で遊ばない</b> 特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p><b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b></p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p> <p style="text-align: center;">  禁止</p>
<p><b>本機にのったり、ぶら下がったりしない</b> 特にお子さまにご注意</p> <p>落下してけがの原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>	<p><b>転倒・落下防止対策をおこなう</b></p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものではありません。</p> <p style="text-align: center;"> <b>設置台を補強する</b></p> <p style="text-align: center;"> <b>丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ</b></p> <p style="text-align: center;"> 転倒・落下を防止する</p>
<p><b>液晶を口にしない</b></p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p> <p style="text-align: center;"> 警告</p>	

電源および電源コードについて		
<p><b>電源コードを傷つけない</b></p> <p> <b>傷つけ禁止</b></p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> <b>ぬれ手禁止</b></p>	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 正しい電源電圧で使用</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
<p><b>電源プラグを奥までさしこむ</b></p> <p>しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: center;"> しっかりと差し込む</p> <p style="text-align: center;"></p>	<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> プラグを持つ</p> <p style="text-align: center;"></p>	<p><b>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</b></p> <p>火災の原因になります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p> <p style="text-align: center;"> ほこりを取る</p>
<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b></p> <p>感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p> <p style="text-align: center;"> <b>プラグを抜く</b></p>	<p><b>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</b></p> <p>火災の原因となることがあります。</p> <p style="text-align: center;"> <b>プラグを抜く</b></p>	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p style="text-align: center;"> <b>禁止</b></p>

## 警告

万一、電池の電解液が身体に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す!!

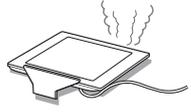
手や体に付着した電池の電解液を放置すると、身体に障害が残る危険があります。水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、異常を感じたら医師の診断を受けてください。

<p><b>電池は分解・加工・改造をしない</b></p> <p>電池には電解液が入っています。電解液が飛び出して手や体に付着すると危険です。万一、付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い落としてください。その後、医師の診断を受けてください。</p>	<p><b>電池を直接半田付けしない</b></p> <p>半田付けすると電池が高温になり、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>
<p><b>電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる</b></p> <p>逆に入れると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p><b>電池をショートさせない</b></p> <p>電池の(+)と(-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しないでください。電池をショートさせると、過大電流が流れたりして漏液・発熱・破裂により、けがの原因となります。</p>
<p><b>正しい電池を使用する</b></p> <p>本機のリモコンに下記以外の電池を使用すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p>● 使用電池：アルカリ乾電池またはマンガン乾電池単4形</p>	<p><b>保管時</b></p> <p>金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部を絶縁テープなどで絶縁してください。</p> 
<p><b>電池を充電しない</b></p> <p>電池を充電すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p><b>廃棄時</b></p> <p>必ず電極部に絶縁テープを貼ってから廃棄してください。廃棄するときは、自治体によって処理の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。</p>
<p><b>電池を加熱したり火の中に入れてはいけない</b></p> <p>漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p><b>電池を高温・高湿の場所で使用や保管しない</b></p> <p>直射日光が当たる場所や車内など高温になる場所、湿度が高い場所での電池の使用や保管は、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>

## 注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p><b>狭い所に置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>	<p><b>あお向けや横倒し、さかさまにしない</b></p>  <p>禁止</p>	<p><b>直射日光や熱器具のそばに置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>
<p><b>布などで通風孔をふさがない</b></p>  <p>禁止</p>	<p><b>屋外での使用禁止</b></p> <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。</p> <p>屋外での使用禁止</p>	<p><b>液晶パネル面を強く押さない</b></p> <p>傷がついたり、破損してけがの原因になります。持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。</p>
<p><b>車載用禁止</b></p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>	<p><b>スタンドに手を挟まない</b></p> <p>角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p> <p>手を挟まない</p>	
<p><b>液晶パネルに衝撃を加えない</b></p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p>	<p><b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</b></p>  <p>設置禁止</p>	

もくじ

ご使用前に

安全のために

使用上のお願い

各部分のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

## ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。

日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、この製品に関する技術

相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



For use in Japan only

国内専用



お手入れの際は電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く



液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすつたりしないように、取り扱いには十分注意してください。

パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。

パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。

溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。

その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、イソプロピルアルコール) 推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。

キャビネットのお手入れ(光沢キャビネット以外)

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



光沢キャビネットのお手入れ

キャビネット光沢表面は少しの傷でも目立ちやすくなっています。

お手入れは眼鏡レンズ拭きなどの柔らかい布のようなものを以外にご使用にならないでください。

専用のクリーニングクロスが同梱されている場合は、同梱のクロスをご使用ください。

キャビネット光沢表面の変色を防ぐため、中性洗剤のご使用もご遠慮ください。



使用禁止

<専用クリーニングクロスの取り扱い上の注意>

ホコリなどの汚れは、先に同梱のクロスの特起毛加工面(文字のある面)で軽くふき取った後、指紋や頑固な油膜をクロス

の平織面(文字のない面)で軽くふき取ってください。

同梱のクロスでも、強くふいたりこすつたりすると傷が付くことがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。

同梱のクロスに付いているホコリなどでの傷付きを防ぐため、ご使用後は必ず洗ってください。(柔軟剤や漂白剤などのご使用はご遠慮ください。)

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。



使用禁止

(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~70cmはなれたぐらいが見やすくして目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること(残像)がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。



長時間同じ画面を表示しない

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除



液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。

環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。

( →P50 本機を廃棄するには)

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のほたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

### 電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器に影響のないところまで本機から離してください。

### 搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

### 保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水／ゴミ／ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱／袋／緩衝材）を使用されることをお奨めします。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

#### お知らせ

- 有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (subpixel)」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。素手で触らないでください。
  - 液晶パネルに水滴などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
  - 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押ししたり、ひっかいたりしないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部分のき

使用の準備

機能

困ったとき

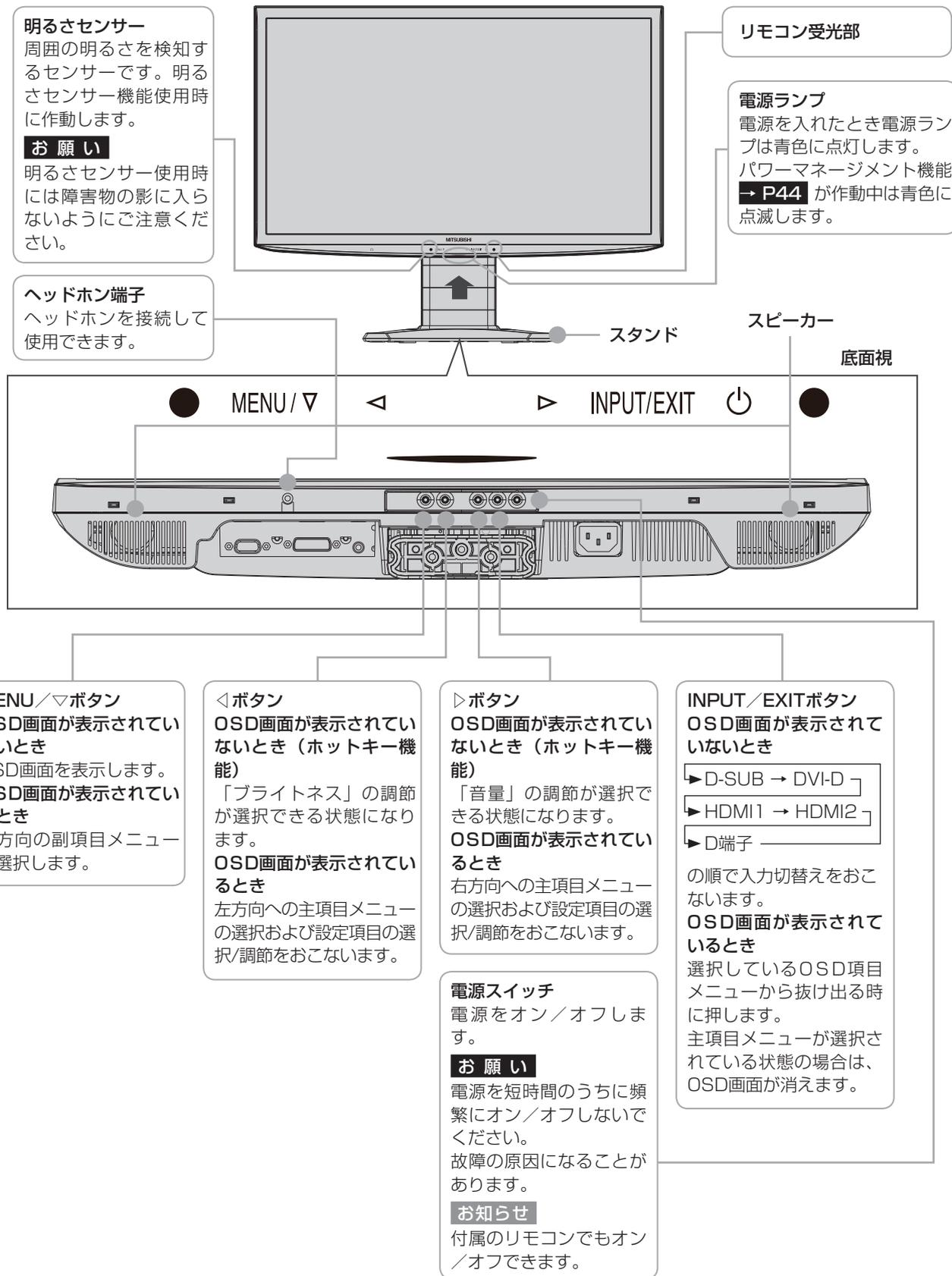
付録

解用説語

いさく

# 各部のはたらき

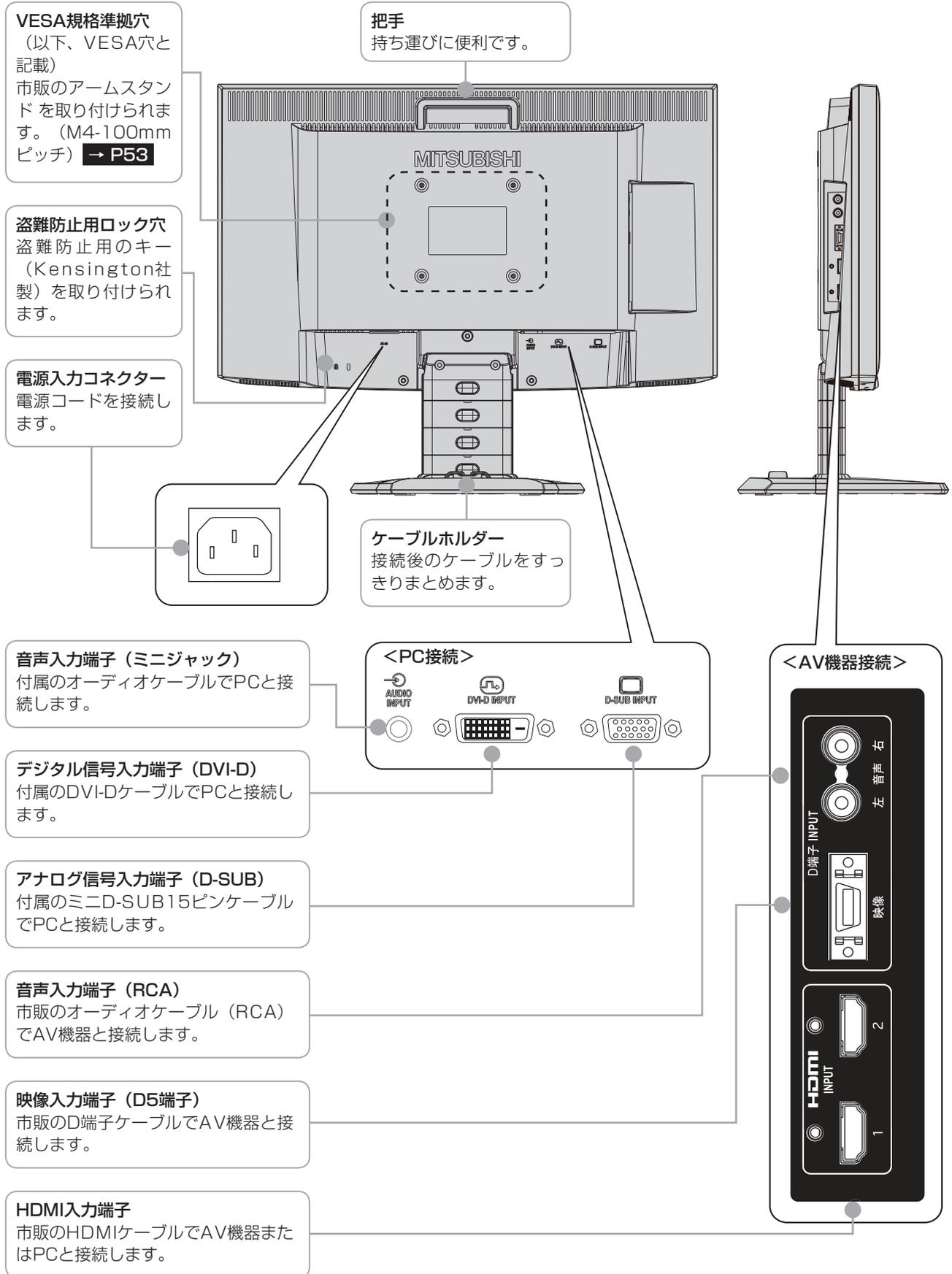
## 本体正面



### お知らせ

● 各ボタンによる詳しいOSDの操作については「OSDの基本操作」 → P29 をごらんください。

本体背面／側面



もくじ

ご使用前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解説語

いさく

リモコン

画面サイズボタン

画面サイズを切替えます。  
(4モード) → P33  
フル、アスペクト、2xズーム、リアル

スルーモードボタン

スルーモード機能をオン/オフします。  
→ P34

MENU/EXITボタン

OSD画面を表示または消します。  
OSD機能の操作の最中には1つ前の画面に戻ります。

DV MODEボタン

DV MODEの静止画モード/動画モードを切替えます。  
→ P31

現在の状態が画面右上に表示されます。

ブライトネスボタン

画面の明るさを調節します。  
▲：明るくなります。  
▼：暗くなります。

子画面 ON/OFFボタン

子画面 (PIP画面) の表示をオン/オフします。  
スルーモード機能をオンにしているときは、子画面を表示できません。

子画面 映像入力ボタン

(子画面表示時のみ有効です)  
子画面に表示する映像を切替えます。

子画面 親子切替ボタン

(子画面表示時のみ有効です)  
現在表示中の親画面と子画面を入替えます。

子画面 サイズボタン

子画面のサイズを切替えます。  
(3モード)  
小、中、大

子画面 位置ボタン

子画面の表示位置を切替えます。  
右上、右下、左下、左上

子画面 超解像ボタン

(子画面表示時のみ有効です)  
子画面の超解像効果をオン/オフします。  
(子画面の超解像効果のレベル調節は、OSD画面でおこないます。  
→ P38 )

親画面の超解像効果が設定されている場合、子画面のレベル設定値にかかわらず、親画面の超解像効果が適用されます。(子画面の超解像効果がオンの場合)

電源ボタン

電源をオン/オフします。

映像入力ボタン

(D-SUB) (DVI-D) (HDMI1) (HDMI2) (D端子)  
それぞれの映像入力をダイレクトに切替えます。

アスペクトボタン

SDタイミングの入力映像に対して、画面のアスペクト比を設定します。  
自動、16:9、4:3  
PC入力時は使用できません。

オーバースキャンボタン

オーバースキャン率を設定します。  
(3モード) → P34  
100% (FULL)、98%、95%または93%  
PC入力時は切替えできません。

自動調節ボタン

(PCアナログ接続時のみ有効です)  
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

超解像ボタン

親画面の超解像設定を切替えます。  
(10段階) → P31  
0 (オフ) ~100  
▲：超解像効果が大きくなります。  
▼：超解像効果が小さくなります。

SELECTボタン

OSD画面が表示されている場合  
選んだ項目を実行します。

コントロールボタン (▲▼◀▶)

OSD画面の操作をします。

倍速クリアピクチャーボタン(倍速CP)

倍速クリアピクチャーを切替えます。  
オフ、弱、強 → P31

DV MODEが「IVテキスト」、「フォト」、「sRGB」のときは切替えできません。

音量ボタン

音量を調節します。  
+：音が大きくなります。  
-：音が小さくなります。

音声 音声入力ボタン

現在表示中の映像ソースに関係なく、音声入力のみを切替えることができます。

音声 MUTE (消音) ボタン

音を消します。  
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、音が出るようになります。

ロックアップボタン

ロックアップモードのレベルを切替えます。  
オフ、ロックアップ1、ロックアップ2



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

### リモコンの取り扱い

#### 基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

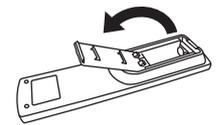
#### ⚠ 注意

##### ● リモコン使用上の注意

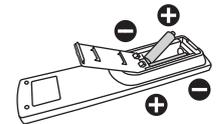
- ・本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
- ・リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約3mですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
- ・リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。  
また、水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。故障の原因となります。
- ・リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
- ・リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
- ・本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

#### 電池の入れ方

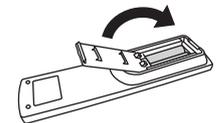
1 ふたのフックを矢印のように押しながら引き上げる



2 ケース内部の表示通りに⊕ ⊖を合わせて入れる



3 ふたを元に戻す



#### ⚠ 注意

- 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。
- ・付属の乾電池は充電用ではありませんので充電しないでください。
- ・乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。  
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- ・乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますので、すぐ取り出してください。  
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。  
もし、もれた液が肌についた場合は、水で十分に洗い流してください。

#### お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさんく

# 使用の準備

## 使用するための流れ



これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

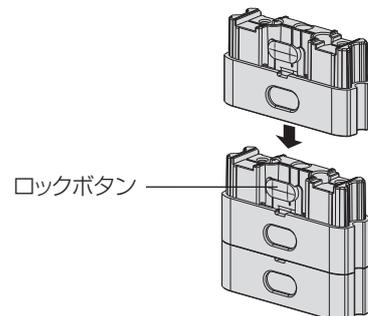
# [準備1] ディ스플레이を組立てる

## スタンドを組立てる

### ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる

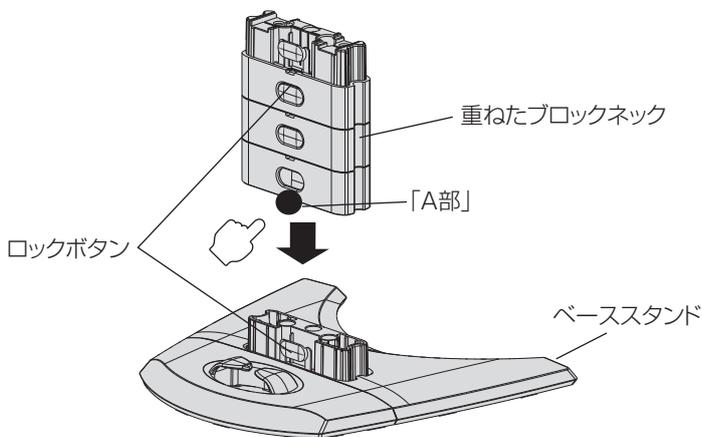
付属のブロックネックは、画面高さがお好みの位置になる数量をお使いください。説明図は付属のブロックネック3個を全て使用した状態です。

付属の2段ブロックネックと1段ブロックネックを積み重ねます。ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



### ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる

付属のベーススタンドに重ねたブロックネックを取り付けます。ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



### お知らせ

- ブロックネックをベーススタンドへ差し込むときは、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと、挿入が容易になります。ベーススタンドの溝に入りにくい場合は、A部を押してください。

## 完成したスタンドを本体に取り付ける

図のように水平な机の上に、ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたベース部を置いてください。

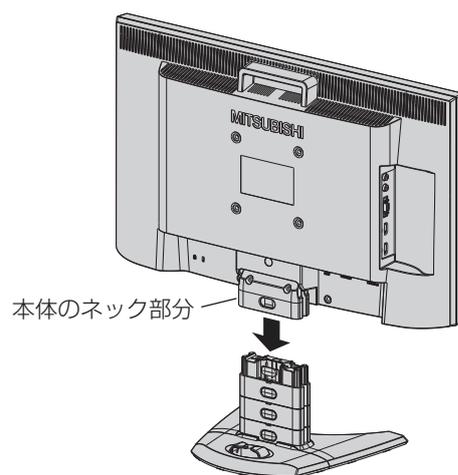
本体に装着されているネック部分と最上段のブロックネックの凹凸部を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

### ⚠ 注意

- ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。取り付け際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
- スタンドを組立てる際に、指をはさまないように注意してください。

### 語句説明

- スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックおよび本体のネック部分をすべて組立てた状態を示します。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の大きさ

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説明

いさく

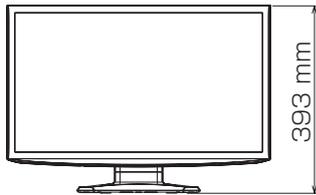
## [準備1] ディスプレイを組立てる (つづき)

### ブロックネックスタンドの特長

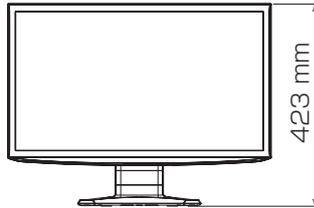
本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

#### ブロックネック装着数を加減することで画面高さを段階的に調節できる

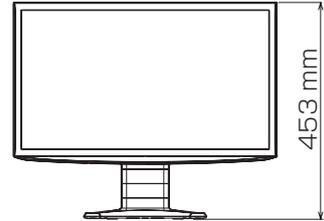
付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。



ブロックネック1個の場合



ブロックネック2個の場合



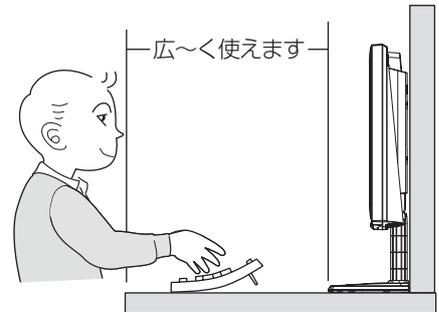
ブロックネック3個の場合 (最大)

#### 後部ベースを外すと壁寄せ設置できる

付属のベーススタンドは前後を分割できます。標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取り外すことで壁に寄せて設置することができます。机の奥行きが狭い場合は、キーボードで狭くなった机を広く使用することができます。

#### ⚠ 注意

- 後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。
- 壁から離して使用する時は、後部ベースを必ず取り付けてください。また、地震の時などでも安全にお使いいただくために、本体背面のVESA穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して転倒や落下しないようにしてください。



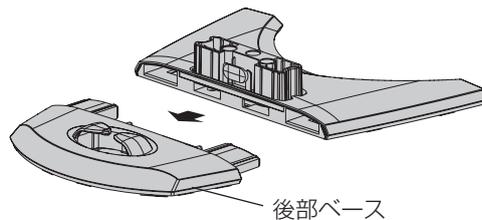
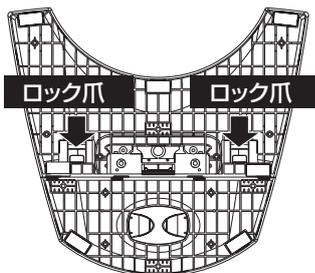
壁に寄せて設置したとき

## [準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる

[必要に応じて]

#### 後部ベースを分離する

- 1 図に示すベーススタンド裏面のロック爪を押してロックを解除し、後部ベースを引っ張って取り外す



後部ベース

#### お願い

- 取り外した後部ベースは、大切に保管ください。

#### 壁に寄せて設置する

- 2 転倒しないように壁に寄せて設置する

## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

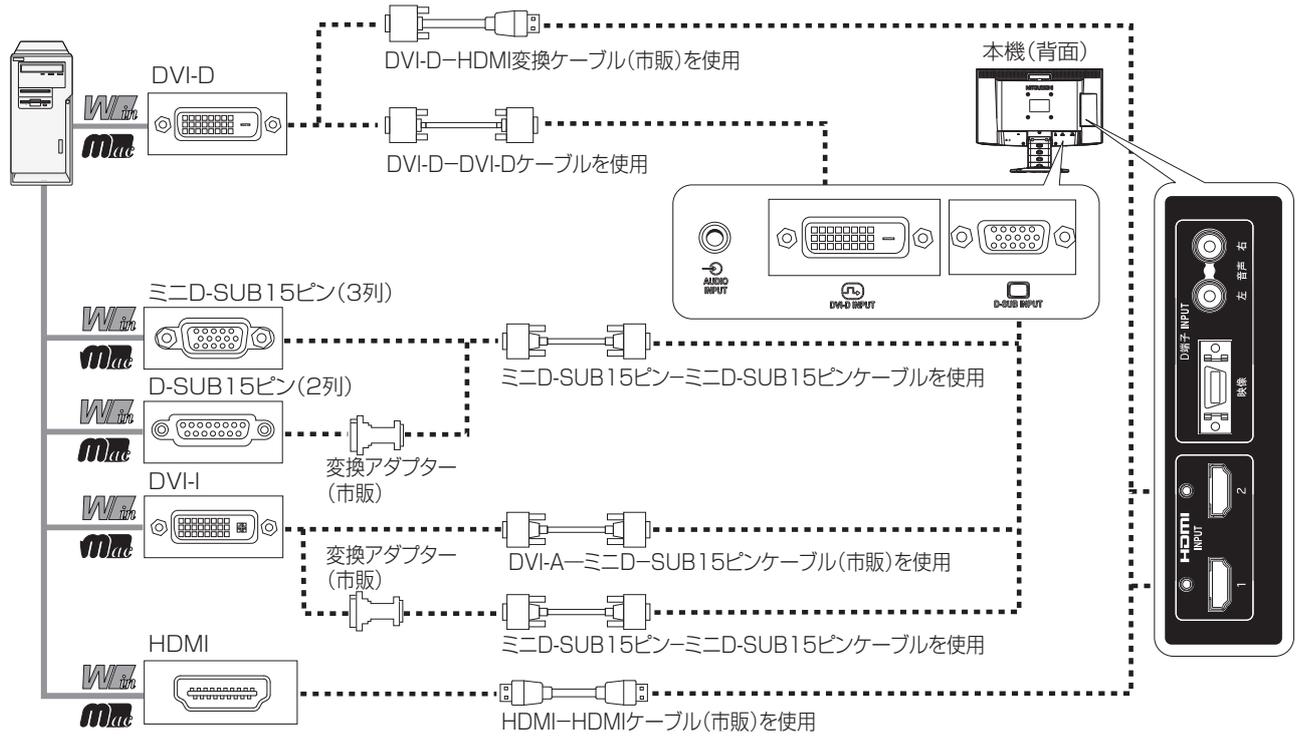
### お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

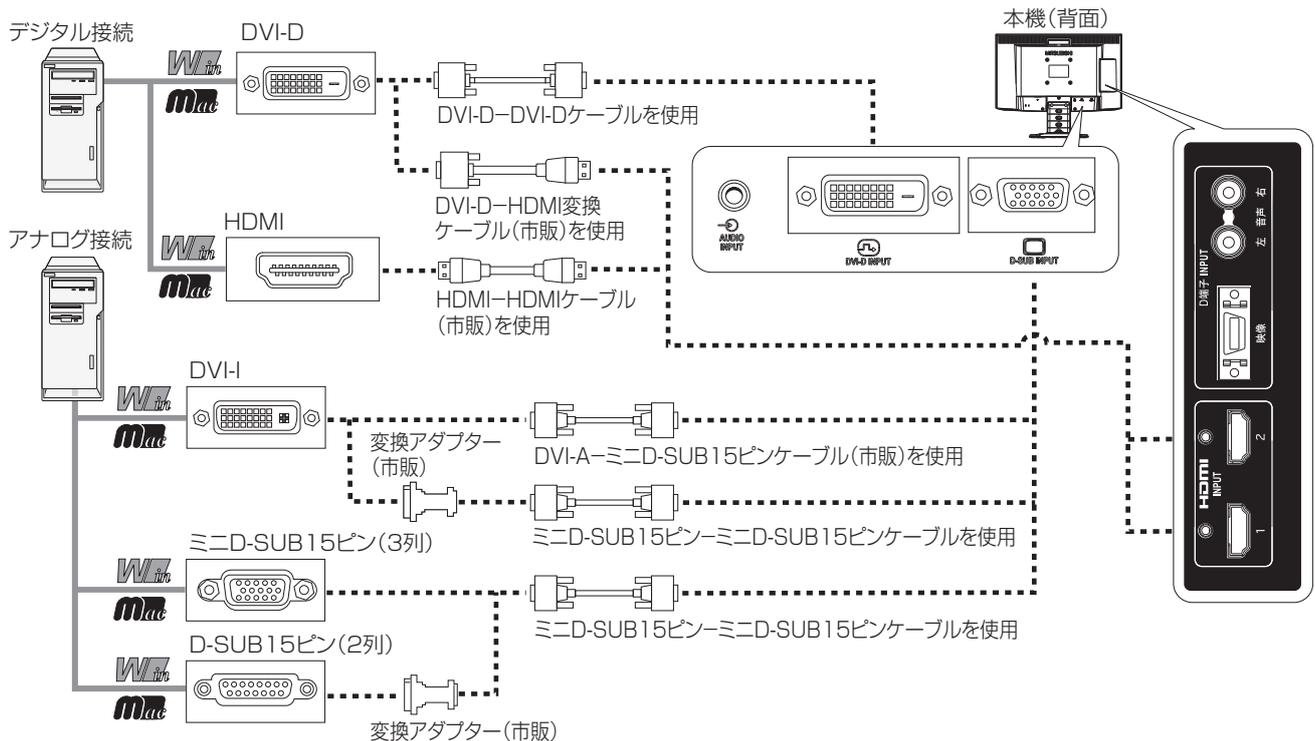
### お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。  
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

### 1台のコンピューターを接続 (デジタル接続/アナログ接続)



### 2台のコンピューターを接続 (デジタル1系統/アナログ1系統同時接続)



もくじ

ご使用前に  
安全のため  
に...

使用上の  
お願い  
はた  
らき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

い  
さん  
く

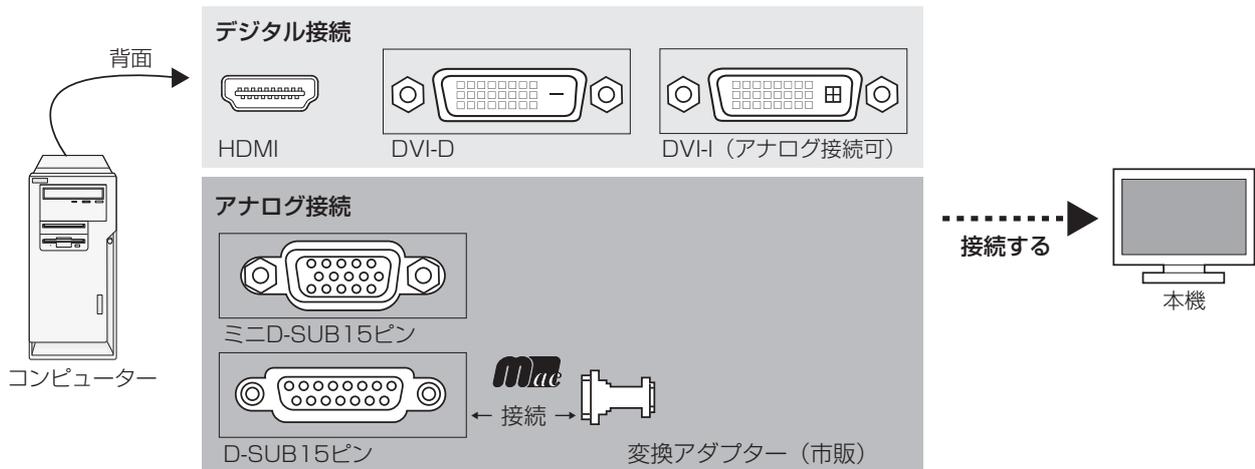
## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

### 3台～4台のコンピューターを接続 (デジタル2～3系統 / アナログ1系統同時接続)

前ページの接続図において、2台～3台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。さらにもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台～4台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

#### 接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号 (ミニD-SUB15ピン) とデジタル信号 (DVI-D、HDMI) に対応しています。また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	ミニD-SUB15ピン (アナログ)	DVI-D (デジタル)	HDMI (デジタル)
DVI-I (アナログ接続 / デジタル接続)	DVI-A-ミニD-SUB15ピンケーブル (市販) で接続 (アナログ接続) または、ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	DVI-D-DVI-Dケーブルで接続	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販) で接続
DVI-D (デジタル接続)	接続できません	DVI-D-DVI-Dケーブルで接続	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販) で接続
HDMI (デジタル接続)	接続できません	DVI-D-HDMI変換ケーブル (市販) で接続	HDMI-HDMIケーブル (市販) で接続
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン (アナログ接続) (2列) 	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません	接続できません

DVI-I : デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能

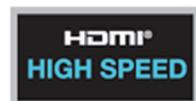
DVI-D : デジタル入力のみに対応しているDVI端子

DVI-A : アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

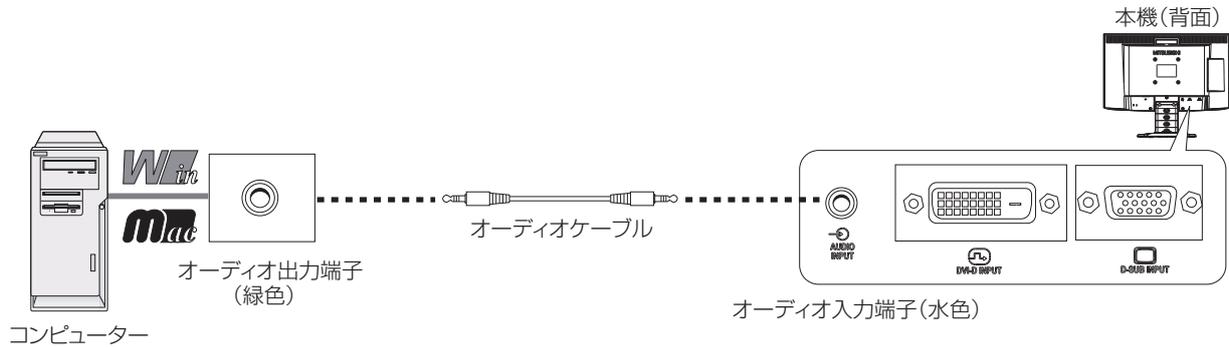
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

※ HDMIケーブルは、右記のHDMIロゴ表示があるケーブルをご使用ください。1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI®ケーブルをご使用ください。



## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

### コンピューターのオーディオ出力端子と接続



#### お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものでご使用ください。  
抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

もくじ

ご使用の前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

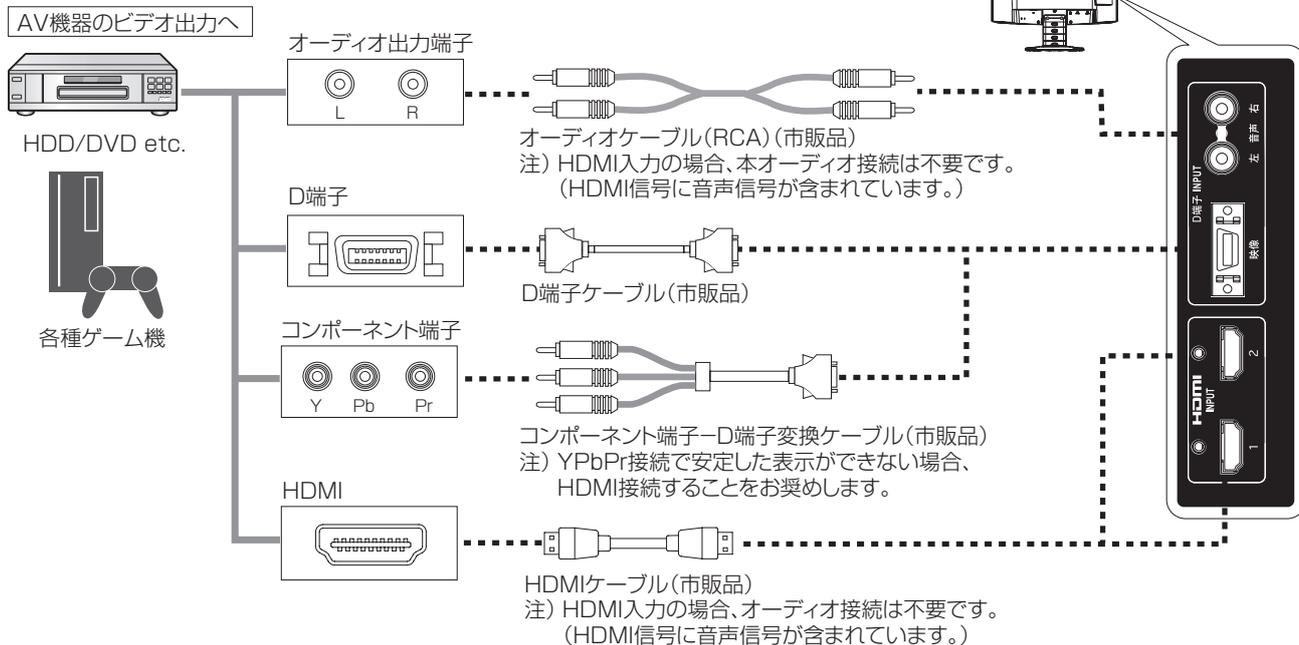
付録

解用説語

いさく

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV機器などと接続して使用することができます。  
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。



お知らせ

- HDMI - HDMI ケーブル接続で 2 台の AV 機器との接続ができます。  
すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。  
数秒 (5~30秒) お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・ PC入力自動切換機能をオフにすると、表示されやすくなる場合があります。
  - ・ 電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・ 映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- D端子入力でAV機器と接続される場合、音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機の音声入力端子を接続してください。
- HDMIケーブルは、右記のHDMIロゴ表示があるケーブルをご使用ください。  
1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI®ケーブルをご使用ください。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

## [準備5] ヘッドホンを接続する

[必要に応じて]

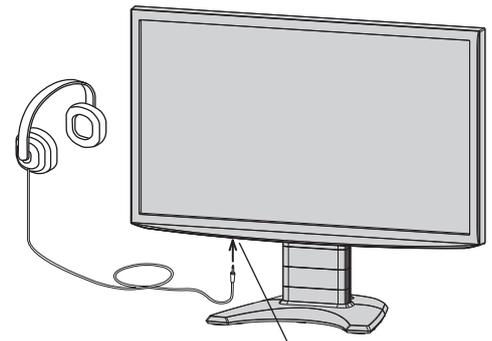
本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

### ⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。  
音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。  
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。



ヘッドホン端子（底面）

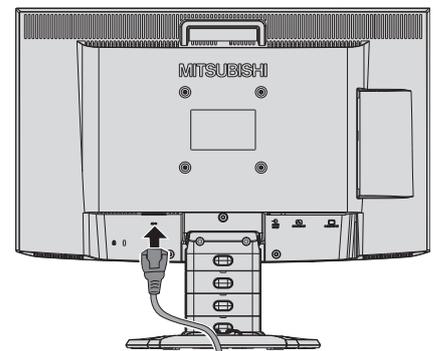
## [準備6] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.5 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。



もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

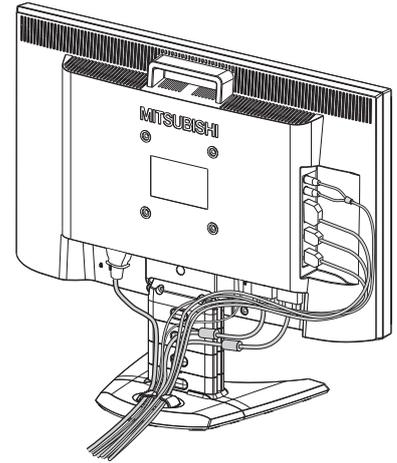
いさく

## [準備7] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

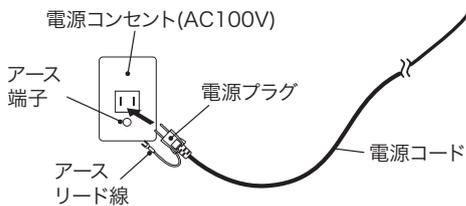
### お願い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。



## [準備8] 電源プラグのアースリード線を接続する

## [準備9] 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する



### お願い

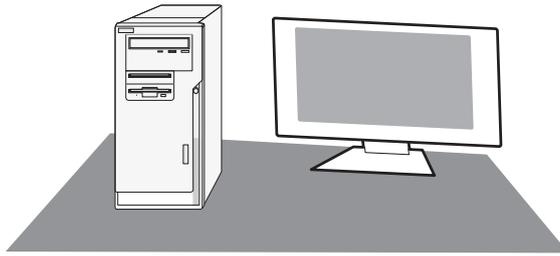
- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。  
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

### ⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100 V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V以外 (最大AC240 V) でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず電源コンセントなどのアース端子へ接続してください。なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## [準備10] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。



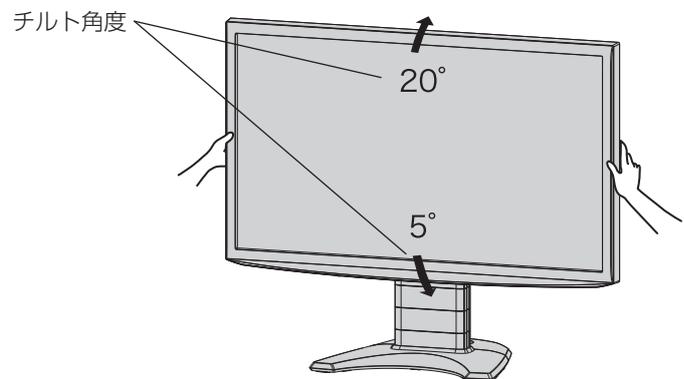
## [準備11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

### 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。  
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

### ⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気をつけてください。  
けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

いさく

## 1 本機およびコンピューターの電源を入れる

## 2 画面の調節をおこなう

### ■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

### ■ アナログ接続の場合

「自動調節をする（D-SUB入力するとき）」 → P25 の手順にしたがって画面を調節してください。

自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「サイズ位置」メニュー（OSD機能） → P33 をご覧ください。

### テストパターン

付属のユーティリティディスクには、テストパターンが入っています。  
このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。  
ご使用方法については、ユーティリティディスクのREADME をご覧ください。

「サイズ位置」メニューの「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。 → P33

「サイズ位置」メニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 → P33

「映像モード」メニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。 → P32



テストパターン表示画面

### お知らせ

テストパターンは、64bit 版 OS に対応しておりません。  
<対応 OS>

Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit 版)、Windows Vista® (32bit 版)、Windows® 7(32bit 版)

## 自動調節をする (D-SUB入力するとき)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P31~P33  
 自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

### お知らせ

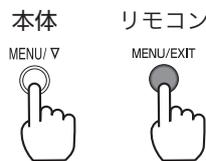
- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」 → P29 をごらんください。

### 1 本機およびコンピューターの電源を入れる

### 2 本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力「D-SUB」ボタンを押して、映像入力を (D-SUB) に切替える

### 3 画面全体に付属のユーティリティディスクのテストパターン → P24 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

### 4 本体の「MENU/▽」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押して、OSD画面を表示する



### 5 コントラストの自動調節をおこなう (オートコントラスト)

- ① 本体の「MENU/▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「映像モード」の「オートコントラスト」を選ぶ。
- ② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。
- ③ 本体の「MENU/▽」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、オートコントラストを実行する。

入力された信号レベルに合わせて、コントラストの自動調節を開始します。  
 (実行中・・・) の表示が消えたらコントラストの自動調節は完了です。  
 手順6に進みます。



もくじ  
 ご使用の前に  
 安全のために...  
 使用上のお願い  
 各部のたつき  
 使用の準備  
 機能  
 困ったとき  
 付録  
 解用説語  
 いさく

## 6 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう (自動調節)

- ① コントラストの自動調節が完了した状態で、本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押して、グループアイコンへ戻る。
- ② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、グループメニューの「サイズ位置」を選ぶ。
- ③ 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「自動調節」を選ぶ。
- ④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「YES」を選ぶ。
- ⑤ 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、自動調節を実行する。



入力された信号に合わせて、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

「実行中・・・」の表示が消えたら調節は完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

## 7 本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを2回押して、OSD画面を消す

### お願い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。 → P33
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

## [準備13] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 95/98/Me/2000/XP/7, Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download)

## ECO設定の変更

- 1 ① 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押して、OSD画面を表示する。
- ② 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、グループメニューの「ツール」を選択する。
- ③ 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO PROF.」を選択する。
- ④ 本体の「▶」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押して、「ECO PROF.」の詳細ページに移動する。
- ⑤ 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO設定」を選択する。
- ⑥ 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」→ **P40** の中から、お好みの設定を選ぶ。



### お知らせ

- OSDの操作方法は、OSDの基本操作 → P29 を参照ください。

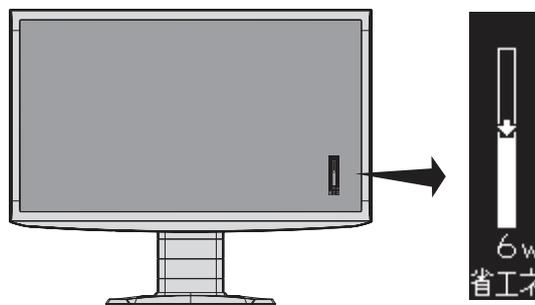
## ECOメーターの表示

- 2 常に省エネ状態を確認できる「ECOメーター」を表示したい場合、ECO PROF. 詳細ページ画面で
  - ① 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECOメーター表示」を選択する。
  - ② 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「オン」を選択する。
  - ③ 本体の「MENU/マ」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECOメーターシースルー」を選択する。
  - ④ 本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、お好みの透過率に設定する。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。  
表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO設定」「明るさセンサー」により値が変わります。

- ⑤ 本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを3回押し、OSD画面を消す。

OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。  
「ECOメーター」を表示したくない場合は、「オフ」を選択するか透過率を「0」にすると消えます。



省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。

「省エネ電力量リセット」を選択して、「オン」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO<sub>2</sub>削減量」がゼロに戻ります。

### お知らせ

- 上図のECOメーターは表示の(例)です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値(W)は変化します。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

## OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



**グループ**  
選択されているグループアイコンは青く表示されます。

**選択項目**  
選択項目が青い背景で表示されます。その他の項目を選択する方法を示す△▽◀▶が青い背景で表示された選択項目の上下左右に表示されます。

**調節項目**  
調節できる項目は黄色で表示されます。調節や選択する方法を示す◀▶が両端に表示されます。実行が必要な場合は、本体の「MENU/▼」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押します。



**チェックアイコン**   
チェックが入っている調節項目が選択されています。

**黒色文字**  
入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。



**灰色文字**  
他の調節項目による使用制限のため使用できない場合、灰色文字になります。



**ツリーアイコン**   
調節項目に対してさらに詳細設定があることを示します。このとき本体の「▶」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。

**案内**  
次のページや制限、特別操作などがあるときは案内が表示されます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

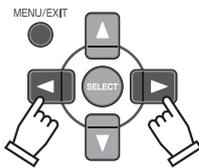
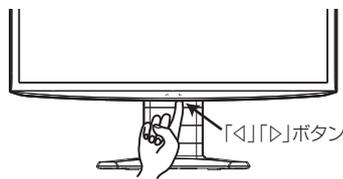
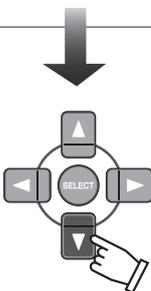
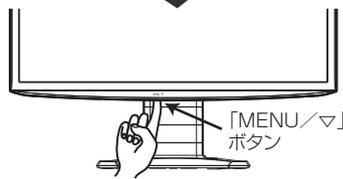
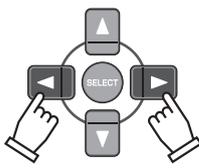
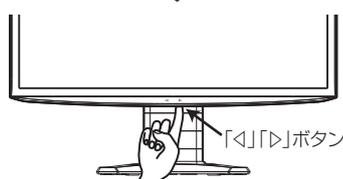
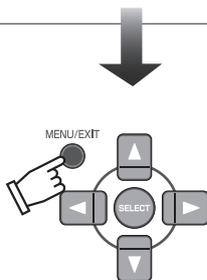
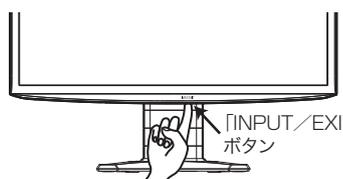
付録

解用説書

いさく

OSDの基本操作

リモコンの「MENU/EXIT」ボタンまたは本体の「MENU/マ」ボタンを押して、OSD画面を表示します。

リモコン操作	本体操作	OSD 画面
 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する</p>	 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する</p> <p>下側よりボタンを操作する</p>	 <p>選択したグループアイコンが青色になる</p>
 <p>「▼」ボタンで、調節する項目を選択する</p>	 <p>「MENU/マ」ボタンで、調節する項目を選択する</p> <p>下側よりボタンを操作する</p>	 <p>選択した項目が青色になる</p>
 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューでは好みのモードに「チェックマーク」を入れる</p>	 <p>「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューでは好みのモードに「チェックマーク」を入れる</p> <p>下側よりボタンを操作する</p>	 <p>選択した調節項目の背景が黄色になったり、調節量表示サイドバーが増減する</p>
 <p>「MENU/EXIT」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す</p>	 <p>「INPUT/EXIT」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す</p> <p>下側よりボタンを操作する</p>	

もう一度、リモコンの「MENU/EXIT」ボタンまたは本体の「MENU/マ」ボタンを押すと、OSD画面が消えます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために...

使用上のお願い

各部のたつき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

グループの構成

各グループの構成は以下になっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。  
入力により使用できない選択項目は、黒い文字で表示され選択できません。



お知らせ

- 本機は一般的なコンピューターと「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節により適切な画面を表示します。 → P25
- 但し、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合はOSD機能を使用して画面の調節 → P31~P33 をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

OSD機能一覧

映像モード

静止画モードの例



動画モードの例



■ DV MODE (Dynamic Visual MODE)

DV MODE (画像表示モード) をお好みに応じて切替えます。

お知らせ

DV MODEとは、映画、ゲーム、写真、文書など、表示する内容に合わせた画質を設定・選択できるスタンダード、IVテキスト、フォト、sRGB、テレビ、シネマ、ゲームの7つのモードの総称です。

DV MODEごとに「倍速クリアピクチャー」「シネマモード」「超解像モード」「シャープネス」「ノイズリダクション」「ブライツネス」「Dコントラスト」「CRO」「ルックアップモード」「黒白伸張」「色のこさ」「色あい」をお好みに調節できます。

■ 倍速クリアピクチャー

60コマ/秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120コマ/秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

**オフ**：倍速クリアピクチャーは、機能しません。

**弱**：倍速クリアピクチャーの効果を弱くかけます。

**強**：倍速クリアピクチャーの効果を強くかけます。

お知らせ

- 静止画でのご使用の場合は「オフ」の設定をおすすめします。
- スルーモードと倍速クリアピクチャーの併用はできません。「スルーモード」を「オン」に設定すると「倍速クリアピクチャー」は「オフ」になります。
- 倍速クリアピクチャーは映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「オフ」にしてください。

■ シネマモード

フィルム映像(24コマ)の表示モードをお好みにより選択できます。

**オフ**：シネマモードがオフになります。

**フィルム**：フィルム映像の動きを忠実に再現します。(映像を補間しません。)

**なめらか**：フィルム映像の動きをなめらかに表示します。(24コマ間の映像を予測補間します。)

お知らせ

- シネマモードは、映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「オフ」にしてください。

■ 超解像モード

静止画/自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧いただけます。調節バー(0~100)が表示されます。10ステップの10レベルが調節可能です。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みに応じて調節してください。

お知らせ

- 超解像技術の効果は入力画像の種類や解像度によって異なります。コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。

■ シャープネス

調節バー(0~100)が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、文字や画像のキレをお好みに応じて調節してください。

■ ノイズリダクション

映像の細かいざらつき(ノイズ)を低減します。

**オフ**：ノイズリダクション機能をオフにします。

**弱**：ノイズリダクションの効果を弱くかけます。

**強**：ノイズリダクションの効果を強くかけます。

お知らせ

- ノイズリダクションをかけると、細部がぼやける傾向があります。

■ ブライツネス

調節バー(0~100)が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みの明るさに調節してください。

■ Dコントラスト(ダイナミックコントラスト)

コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。

お知らせ

DV MODEで「IVテキスト」「フォト」「sRGB」を選択しているときは、Dコントラストが使用できません。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の取り扱い

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

### ■ CRO

CRO (コントラストレシオオプティマイザー) 機能をオン/オフします。  
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。  
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

#### お知らせ

DV MODEで「IVテキスト」「フォト」「sRGB」を選択しているときは、CROが使用できません。

### ■ ルックアップモード

ルックアップ機能を調節します。

オフ:

画面正面から視聴する場合に選択してください。

ルックアップ1/ルックアップ2:

画面下方向から視聴する場合に選択してください。ねころびながら快適な映像を楽しむことができます。

### ■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張をおこなうかどうかを選択します。

オン: ゲーム機器やDVDプレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張されます。

オフ: コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張はおこないません。

#### お知らせ

- 映像が黒浮きしているような場合は、「オン」を選択してください。
- 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「オフ」を選択してください。
- DV MODEで「IVテキスト」「フォト」「sRGB」を選択しているときは、黒白伸張が使用できません。

### ■ 色のこさ

お好みに応じて画面の色のこさを調節できます。  
値を大きくすると、色がこくなります。

#### お知らせ

- DV MODEで「IVテキスト」「sRGB」を選択しているときは、色のこさが使用できません。

### ■ 色あい

お好みに応じて画面の色あいを調節できます。  
値を大きくすると、肌色が緑がかります。値を小さくすると、肌色が紫がかります。

#### お知らせ

- DV MODEで「IVテキスト」「sRGB」を選択しているときは、色あいが使用できません。

### ■ オートコントラスト

\* D-SUB入力の場合のみ有効です。  
コントラストを自動調節します。  
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」  
→ P25 をごらんください。

### ■ コントラスト

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みのコントラストに調節してください。

### ■ ブラックレベル

黒レベルを手動調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。

### ■ リセット

現在選択しているDV MODE ページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

## サイズ位置



## ■ 自動調節

\* D-SUB入力の場合のみ有効です。

左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

自動調節の詳細手順については「自動調節をする」  
→ P25 をごらんください。

## ■ 水平位置

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右方向の表示位置を調節してください。

## お知らせ

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。  
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D端子」のときは、オーバースキャン動作時 (100%フル以外) に使用できません。

## ■ 垂直位置

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、上下方向の表示位置を調節してください。

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。  
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D端子」のときは、オーバースキャン動作時 (100%フル以外) に使用できません。

## ■ 水平サイズ

\* D-SUB入力の場合のみ有効です。

画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、水平サイズを調節してください。

## ■ 位相

\* D-SUB入力の場合のみ有効です。

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、位相を調節してください。

## ■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。オーバースキャン動作時は、選択された画面サイズに対してオーバースキャン表示をします。

**フル** : 入力映像信号を画面全体に拡大します。アスペクト比 (縦横比率) が16:9以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。

**アスペクト** : 入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱいに映像信号を拡大します。

このため、入力される映像信号によっては、表示画面の縦または横方向に黒帯がでます。

**2xズーム** : 入力映像信号の解像度を縦横2倍に拡大表示します。

縦横2倍拡大できない映像信号が入力された場合は、「リアル」と同じ動作となります。

**リアル** : 入力映像信号の解像度のままで表示します。(画面は拡大されません。)

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

■ アスペクト比

HDMI1/HDMI2/D端子入力で、D1/D2の映像信号が入力されたときのみに有効です。

「アスペクト」「2xズーム」「リアル」でアスペクト比が保持されていないときに調節します。「自動」を手動設定で「4:3」「16:9」に切替えてください。

**自動** : NTSC4:3とNTSCスクイーズの映像信号を自動で真円になるように調節します。

**16:9** : 画面を垂直方向に0.84倍、縮小します。NTSCスクイーズの映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が縦につぶれます。



NTSCスクイーズの映像信号 → NTSCスクイーズの映像信号を16:9で調節した画面

**4:3** : 画面を垂直方向に1.125倍、拡大します。NTSC4:3の映像信号が真円になります。その他の映像信号では円が横につぶれます。

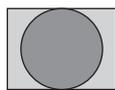


NTSC4:3の映像信号 → NTSC4:3の映像信号を4:3で調節した画面

■ オバーキャン

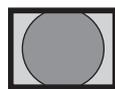
オーバースキャン率を設定します。AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

**100%/フル** : 入力された映像をそのまま表示します。画面サイズ → P33 で選択されたサイズに対してフル表示します。入力される映像によっては、画面の外周部にノイズが見えることがあります。



NTSC4:3の映像信号をオートで調節した画面

**98%** : 入力された映像の周囲をカットし、元映像の98%を表示します。「100%/フル」の設定で画面の外周部にノイズが見える場合は、「98%」を選択してください。画面サイズ → P33 で選択されたサイズに対して周囲をカットし、98%表示します。



98%で調節された画面のイメージ

**95%** : 98%と同じように95%で表示します。  
**93%** : 98%と同じように93%で表示します。

お知らせ

- D-SUB/DVI-D/HDMI のPCタイミングではオーバースキャンは使用できません。
- 「オーバースキャン」を「100%/フル」以外に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- 「スルーモード」を「オン」に設定すると、「オーバースキャン」は「100%/フル」になります。

■ スルーモード

ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮するモードです。映像と音声のズレが気になる場合にご使用ください。

お知らせ

- 「スルーモード」は、画像処理の機能を制限することで、遅延時間短縮を実現しています。このため、色調節など、いくつかの機能が使用できなくなります。また、映像の種類によっては、階調のなめらかさが損なわれるなど、画質が低下する場合があります。
- 「スルーモード」を使用しても、映像と音声完全に同期しない場合があります。
- 静止画でのご使用の場合は、「スルーモード」をオフで使用することをおすすめします。
- 「スルーモード」をオンにすると子画面はオフされます。
- 「スルーモード」をオンにすると画面サイズは「アスペクト」になります。
- 「スルーモード」をオンにすると「倍速クリアピクチャー」は「オフ」の動作となります。
- 「スルーモード」をオンにすると「シネマモード」は「オフ」の動作となります。
- HDMI、D端子入力の場合は、「スルーモード」をオンにすると、オーバースキャンはFULL (100%) になります。
- 480iや1080iの信号が入力されているときに「スルーモード」をオンにすると、コンテンツによってはちらつきが発生する場合があります。
- 入力される映像信号の垂直周波数(リフレッシュレート)が60Hz以外の場合、「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる場合があります。 → P47

■ 解像度切換

\* D-SUB 入力の場合のみ有効です  
 「1024×768」、「1280×768」、「1280×1024」、「1360×768」、「1400×1050」、「1680×1050」の入力信号の解像度を、手動にて直接指定することができます。上記の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ

- OSD上に表示されている解像度以外の信号(例: 640×480)が入力された場合、本機能は機能しません。

■ リセット

サイズ位置のページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

カラー



■ 色温度

お好みに応じて画面の色温度を5つのモードから選択できます。

モードの種類

- NATIVE : 液晶パネル本来の色温度で表示します。  
(調節できません)
- 1/10000K : 色温度10000Kで表示します。
- 2/9300K : 色温度9300Kで表示します。
- 3/6500K : 色温度6500Kで表示します。
- 4/5000K : 色温度5000Kで表示します。

■ RED (赤色)、GREEN (緑色)、BLUE (青色)

それぞれの色を個別に調節することにより、色温度をお好みに調節できます。調節すると色温度の表示がUSERに変わります。ここでの調節はリセットで戻すことができます。

■ リセット

現在選択しているカラーモードのページの選択項目のすべてを工場出荷設定に戻します。

音声



■ 高音

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、高音域の音量を調節します。

■ 低音

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、低音域の音量を調節します。

■ バランス

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右の音のバランスを調節します。◀方向に動かすと左の音が大きくなり、▶方向に動かすと右の音が大きくなります。

■ サラウンド

サラウンド機能をオン/オフします。臨場感のある立体的な音響にする機能です。

■ クリアボイス

クリアボイス機能をオン/オフします。ニュース番組などで、高音を強調して人の声をより聞きやすくする機能です。

■ おすすめ音量

おすすめ音量機能をオン/オフします。映画やCMなどの放送内容で異なる音量感を一定にして聞きやすくする機能です。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のたつき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさんく

■ 音声選択

表示中の映像に関係なく、他の入力の音声を選択できます。

親画面連動：

親画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。

子画面連動：

子画面の映像入力が切替わると、連動して音声入力も切替わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入力に切替わります。

PC、HDMI1、HDMI2、D端子：

好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切替えても音声入力は切替わりません。

お知らせ

- 親画面または子画面入力がHDMI1のときは、「HDMI2」を選択しても、HDMI2の音声は出力されません。
- 親画面または子画面入力がHDMI2のときは、「HDMI1」を選択しても、HDMI1の音声は出力されません。
- HDMIの音声を選択したとき、すぐに音声が出力されない場合があります。

組み合わせ (○：音声がでる組み合わせ ×：音声がでない組み合わせ)

音声選択		表示画面				
		D-SUB	DVI-D	HDMI 1	HDMI2	D端子
親画面連動		○	○	○	○	○
子画面連動		○	○	○	○	○
PC	D-SUBの音声	○	○	○	○	○
	DVI-Dの音声	○	○	○	○	○
HDMI 1		○	○	○	×	○
HDMI2		○	○	×	○	○
D端子		○	○	○	○	○

■ 音量

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、音量を調節します。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応しておりません。

■ 消音

本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、消音機能をオン/オフします。リモコンで消音オンにするとアイコンが約3秒表示され、消えます。

解除するには、消音オフにするか、リモコンの「消音」ボタン、または「音量」ボタンを押して下さい。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

2画面



■ 子画面選択

子画面に表示させたい映像入力を選択します。  
オフを選択すると子画面は消えます。

2画面表示可能な、親画面と子画面の組み合わせ

親画面 \ 子画面	D-SUB	DVI-D	HDMI1	HDMI2	D端子
D-SUB	×	○	○	○	×
DVI-D	○	×	○	○	○
HDMI1	○	○	×	×	○
HDMI2	○	○	×	×	○
D端子	×	○	○	○	×

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD機能の「音声」の「音声選択」 → P36 を「子画面連動」に設定してください。
- 映像信号の垂直周波数が60 Hz以外の場合、2画面表示できない場合があります。
- 「サイズ位置」の「画面サイズ」「アスペクト比」「オーバースキャン」の設定によっては、2画面表示できない場合があります。
- スルーモードがオンのときは、2画面表示はできません。

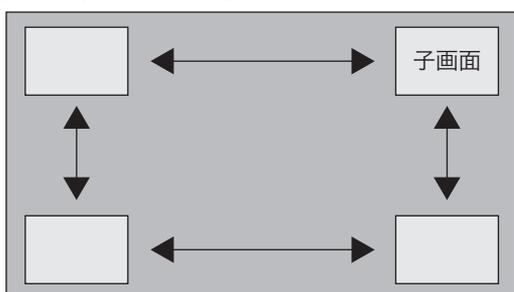
■ 子画面サイズ

子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

サイズ \ 映像信号	4 : 3	5 : 4	16 : 9
小	320×240	400×240	426×240
中	480×360	450×360	640×360
大	640×480	600×480	852×480

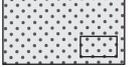
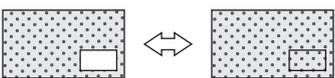
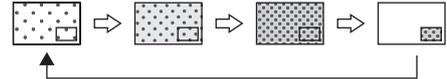
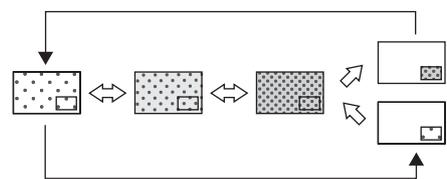
■ 子画面位置

右上、右下、左下、左上から選べます。

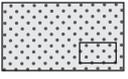
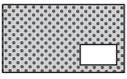


もくじ  
ご使用前に  
安全のために...  
使用上の  
お願ひの  
は、各部分の  
は、各部分の  
使用の  
準備  
機能  
困った  
とき  
付録  
解用  
説語  
いさく

■ 超解像モード

<p>画面の状態</p> <p>子画面が表示されていないとき</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンは無効です。</p>
<p>画面の状態</p> <p>子画面が表示されていて、親画面の「超解像」が「0 (オフ)」のとき</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12</p> <p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12</p> <p>リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12 またはOSD画面の「映像モード」で「超解像モード」を設定したとき → P39</p> <p>親画面の「超解像」を設定した時点では、子画面には「超解像」は適用されません。</p>  <p>上記の状態からリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、親画面で設定した「超解像」と同じ設定が子画面に適用されます。</p> 
<p>画面の状態</p> <p>親画面と子画面の「超解像」がオンのとき (このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。)</p> 	<p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12</p> <p>リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12</p> <p>リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P12 またはOSD画面の「映像モード」で「超解像モード」を設定したとき → P39</p> <p>子画面の「超解像」は、オフになります。さらに続けてリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、子画面には親画面で設定した「超解像」と同じ設定が適用されます。</p>  <p>リモコンの場合は、「10」→「20」→…→「100」→「0 (オフ)」の順で、OSDメニューの場合は、「10」⇔「20」⇔…⇔「100」の順で親画面の「超解像」の設定が切替わります。</p> <p>このとき子画面は、親画面の「超解像」設定が「0 (オフ)」のとき以外は、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されます。</p> <p>なお、親画面の「超解像」設定を「0 (オフ)」にしたとき、子画面には親画面の「超解像」設定が「0 (オフ)」になる直前の「超解像」の設定が保持されます。</p> <p>リモコンで「超解像」を設定したとき</p>  <p>OSDメニューで「超解像」を設定したとき</p> 

もくじ  
ご使用の前に  
安全のために…  
使用上のお願  
各部の  
使用の準備  
機能  
困ったとき  
付録  
解用説語  
いさく

画面の状態	リモコンの子画面「親子切替」ボタンを押したとき → P12																			
<p>親画面と子画面の「超解像」がオンのとき (このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。)</p> 	<p>親子切替をおこなうと、子画面と親画面が入替わって表示されます。 このとき親画面は、その映像入力において親画面用に設定した「超解像」の設定になります。 また、このとき子画面の「超解像」は、オフになります。</p> <p>&lt;例&gt;</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>親画面</th> <th>子画面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力</td> <td>D-SUB</td> <td>DVI-D</td> </tr> <tr> <td>超解像設定</td> <td>30</td> <td>親画面に追従 (30)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">親子切替 →</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th></th> <th>親画面</th> <th>子画面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入力</td> <td>DVI-D</td> <td>D-SUB</td> </tr> <tr> <td>超解像設定</td> <td>50 * DVI-D入力に対するOSDメニューでの設定になります</td> <td>オフ</td> </tr> </tbody> </table> 			親画面	子画面	入力	D-SUB	DVI-D	超解像設定	30	親画面に追従 (30)		親画面	子画面	入力	DVI-D	D-SUB	超解像設定	50 * DVI-D入力に対するOSDメニューでの設定になります	オフ
	親画面	子画面																		
入力	D-SUB	DVI-D																		
超解像設定	30	親画面に追従 (30)																		
	親画面	子画面																		
入力	DVI-D	D-SUB																		
超解像設定	50 * DVI-D入力に対するOSDメニューでの設定になります	オフ																		

**お知らせ**

- 親画面と子画面の「親子切替」は、本体のOSD画面ではできません。リモコンの「親子切替」ボタンでのみ操作できます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

ツール

ツール画面



ECO PROF. 詳細ページ



もへい

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

機能

困った

付録

解用

いさく

■ ECO PROF.

ECO Professional機能とは省エネに配慮した下記の機能の総称です。

本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「SELECT」ボタンを押すと右上図のページに切替わり、下記の項目が調節できます。

ECO PROF. 詳細ページから戻るには、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押します。

◆ ECO設定

「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

**オフ**：省エネモード設定を解除します。

**小**：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約7 W (\*) 削減します。

**中**：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約18 W (\*) 削減します。

**大**：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約26 W (\*) 削減します。

お知らせ

- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- (\*) マーク説明：  
画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「オフ」にした状態との比較値です。  
(当社測定結果による)

◆ ECOメーター表示

現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

**オフ**：ECOメーターは表示しません。

**オン**：画面右下にECOメーターを表示します。

お知らせ

- 省エネ電力値：ECO設定の動作時や画面の明るさ(ブライトネス)を暗くした時に得られる電力削減値です。

◆ ECOメーターシースルー

ECOメーターの表示透過率を調節します。

調節バー(0~100)が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、ECOメーターの表示透過率をお好みの状態に調節してください。

◆ 電源自動オフ

信号入力が無い場合の自動電源オフモードの設定をします。

**オフ**：自動電源オフしません。

**オン**：信号入力が無くなってから約30分後に電源オフします。

お知らせ

- 本機能動作後は、電源オフされているため、再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

◆ オフタイマー

「15分」「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源をオフすることができます。

◆ 省エネ電力量リセット

「オン」を選択すると、ECO PROF.詳細ページに表示している省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO<sub>2</sub>削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO<sub>2</sub>削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをお奨めします。

## ◆ 省エネ電力量 (表示のみ)

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率およびCO<sub>2</sub>削減量をOSD画面上に表示します。

**省エネ電力量**：ご使用を始めて(またはリセットした時点)から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネジメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「\*\*\*.\*\*\*kWh」で表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

**省エネ率**：省エネ電力量の削減効果を「\*%」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

**CO<sub>2</sub>削減量**：省エネ電力量をCO<sub>2</sub>削減量に換算した値を「\*\*kg」で表示します。

- CO<sub>2</sub>削減量は、1kWh=0.4kg (「各国における発電部門のCO<sub>2</sub>排出原単位の推計報告書-Ver.3 (2006.6Revised)-」(JEMA)より)を用いて算出。

## ■ 言語 (LANGUAGE)

OSD画面の表示言語を切替えます。  
日本語と英語 (English) が選択できます。

## ■ 明るさセンサー

室内の明るさを感知する明るさセンサーの感度を切替えます。

感知した明るさに応じて、室内が明るいときはより明るく、室内が暗いときはより暗くなるように画面の明るさを自動的に調節します。

弱→中→強の順で画面の明るさが暗くなります。

**オフ**：明るさセンサーは、はたらきません。

**弱**：明るさセンサーの感度を弱くします。

**中**：明るさセンサーの感度を中程度にします。

**強**：明るさセンサーの感度を強くします。

## ■ LEDブライトネス

調節バー (0~100) が表示されます。本体の「◀」「▶」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

## ■ PC入力自動切換

信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。選択されているコネクタはOSD画面「情報」の「入力信号」で確認できます。

**オン**：現在表示しているコネクタからの入力信号がなくなったとき、他のコネクタから信号を入力している場合は表示を自動的に切替えます。

**オフ**：入力信号の表示の自動切替をおこないません。

## ■ お知らせ

- PC接続 (DVI-DおよびD-SUB接続) にのみ対応しています。
- 変換ケーブルや変換コネクタなどを使用して、HDMI1、HDMI2端子にPC信号を入力することが可能ですが、これらの入力に対して入力自動切換機能は機能しません。この場合は、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して、入力を切替えてください。

## ■ DDC/CI

DDC/CI → P55 通信による各種操作を制限する機能です。

DDC/CI 通信をオン/オフします。

## ■ 操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐためのOSD画面操作禁止機能です。操作ロック中でもブライトネスと音量は調節可能です。ロックの設定/解除の操作は、リモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

## ■ ロックの設定

OSD画面を表示し、「ツール」の「操作ロック」が選択されている状態で本体の「▷」ボタンを押しながら「INPUT/EXIT」ボタンを押すとロックが完了します。

## ■ ロックの解除

「操作ロック」のOSDを表示させ再び本体の「▷」ボタンを押しながら「INPUT/EXIT」ボタンを押すと操作ロックは解除されます。

## ■ お知らせ

- ロック中は、リモコンでの操作はできません。
- ロック中は、本体ボタンでの入力切替、電源オン/オフ、「◀」「▶」ボタン (ホットキー) によるブライトネスと音量の調節ができる状態になります。

## ■ サイドカラー

画面サイズでアスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節します。

R、G、Bの中から色を選択し、それぞれの色を調節します。

## ■ OSD水平位置

OSD画面をお好みの位置に調節してください。

## ■ OSD垂直位置

OSD画面をお好みの位置に調節してください。

## ■ OSD表示時間

## ■ メニュー

OSD画面を表示させた後、OSD画面が自動的に消える時間を設定する機能です。

10秒から120秒まで、5秒ごとの設定が可能です。

## ■ インフォメーション

案内画面 (音量、ミニOSD、オフタイマー、消音) の表示時間を設定します。設定された時間になると案内画面が自動的に消えます。

1秒から10秒まで、1秒ごとの設定が可能です。また、「オフ」に設定すると、本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンが押されるまで案内画面を表示し続けます。

## ■ オールリセット

「映像モード」、「サイズ位置」、「カラー」、「音声」、「2画面」、「ツール」の各設定を工場出荷状態に戻します。

## ■ お知らせ

- ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率およびCO<sub>2</sub>削減量はリセットされません。リセットしたい場合は、ECO PROF.の「省エネ電力量リセット」を実行してください。
- 言語切替はリセットされません。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

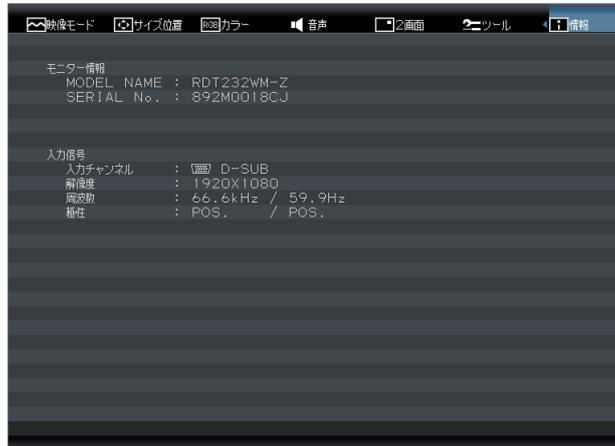
困ったとき

付録

解用説語

いさく

## 情報



### ■ モニター情報

MODEL NAME (形名) を確認できます。

### ■ 入力信号

現在表示している入力チャンネルと信号情報が確認できます。

#### お知らせ

- 製造番号は本機の背面に貼り付けてある定格ラベルで確認をお願いします。

もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

いさ  
んく

工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、自動調節 → P25 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Machintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Machintosh
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1360 × 768	47.7kHz	60.0Hz	
1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p (推奨タイミング)
1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P25 とするとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～82.3kHz、垂直周波数56～76Hz対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

もくじ  
ご使用の前に  
安全のために…  
使用上のお願い  
各部のはたらき  
使用の準備  
機能  
困ったとき  
付録  
解用説語  
いさく

## その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

### 拡大・スムージングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

### 簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

#### お知らせ

- 本機は、AV機器のタイミング（480i、480p、1080i、720p、1080p）の入力信号を表示することができます。

### Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

### ノータッチオートアジャスト機能（NTAA : No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。

入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。



NTAA実行中画面

#### お知らせ

- アナログ入力信号（D-SUB 入力）のみ有効です。

### パワーマネジメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

#### お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネジメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	72 W	点灯
スリープモード時	1 W以下（AC100 V時）	点滅（約1秒間隔）

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネジメント機能が正常に作動しない場合があります。

#### お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10, 12
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11, 22
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	—
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P40
	電源ランプが点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P29 P51
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「映像モード」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P31, 32
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, 43
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	—
	電源ランプが点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P44
信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P17, 18	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P17, 18	
コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		—	
入力選択があっていない可能性があります。本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して入力切替をおこなってください。		P10, 12	
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 本体に接続されている全てのケーブルを抜いて挿し直してください。	P17
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。	P51

もくじ

ご使用前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のつき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	電源ランプが点灯しない場合	オフタイマーが設定されている可能性があります。再度電源を入れてください。	P40
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。暗い環境や明るさセンサーが遮光されている場合、電源自動オフが動作することがあります。	P40
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	線の太さなどがぼやける	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力解像度を1920×1080に設定してください。または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。アナログ接続の場合は、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P25, 31, 43
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P23
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を切替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	—
表示が横長に伸びている	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力解像度を1920×1080に設定してください。または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P33, 43	
OSD画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節したり、超解像モード、ダイナミックコントラストなどの機能をオンにするとOSD画面表示状態に影響を与える場合があります。映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	—	

もくじ

ご使用前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P29 —
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「カラー」の「色温度」を調節するか、「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P35, 41
		● OSD画面が正常に表示され、「カラー」の「色温度」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, 43
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P17
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P17
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P29 —
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「サイズ位置」の「位相」を選択し、調節してください。	P33
● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。		P17, 43	
● 超解像オンの場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像モードを変更してください。		P31, 38	
● 上下にちらつく場合は、PCのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。	—		
画面中央に境界線が出て、左右で画質が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P41	
「スルーモード」をオンにすると画面が乱れる	「スルーモード」をオフするかコンピューターの入力信号の垂直周波数（リフレッシュレート）を60Hzに設定してください。	P12, 34, 43	

もくじ  
ご使用の前に  
安全のために…  
使用上のお願い  
各部のき  
使用の準備  
機能  
困ったとき  
付録  
解用説語  
いさく

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された! *1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P17, 18
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P44
	HDCP対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	—
画面に「OUT OF RANGE」が表示された! *2 	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P42, 43
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	—

\* 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

\* 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	状態	原因と対処	参照
解像度や色数を変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	—
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P26
	Windows®セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問合せください。	—
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認してください。	P19
	ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P21
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	リモコンで音量を調節するか、消音設定を解除してください。または、OSD画面の「音声」の「音量」で音量を調節するか、「消音」を「オフ」にしてください。	P12, 36
	「音声」の「音声選択」で表示入力と違う入力選ばれている可能性があります。	「音声」の「音声選択」を確認してください。	P36

その他

症状	状態	原因と対処	参照
AV機器の映像が何も映らない! または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒 (5~30秒) お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● 映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	P20
		入力選択があていない可能性があります。 本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して映像入力を切替えてください。	P10, 12
リモコンで操作できない、またはリモコンが効きにくい	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。	新しい乾電池と交換してください。	P13
	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。	画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	P13
	リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。	障害物を取り除いてください。	P13
	リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。	汚れを拭き取ってください。	—
	リモコンの乾電池の⊖ ⊕が逆に入っている可能性があります。	乾電池の向きを確認してください。	P13
	操作ロックされていませんか。	ロックを解除してください。	P41

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報)

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment)

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系 (個人ユーザー様) の窓口	事業系 (法人ユーザー様) の窓口
TEL 03-3455-6107 <a href="http://www.pc-eco.jp">www.pc-eco.jp</a>	TEL 03-3455-6106 <a href="http://www.diarcs.com">www.diarcs.com</a>
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

“PCリサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

<p>リサイクル窓口ホームページ： <a href="http://www.pc-eco.jp">www.pc-eco.jp</a></p> <p>画面の <span>PCリサイクルマーク申込</span> からお入りください。</p>	<p><b>ご注意：</b> 法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。</p>
--	---

もくじ

ご使用前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

### 保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。  
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。  
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口 (携帯電話・PHS通話可/ IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可/ IP電話不可)
フリーダイヤル  0120-71-3322	フリーダイヤル  0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- お名前
  - ご住所 (付近の目標など)
  - 電話番号
  - 品名:三菱液晶ディスプレイ
  - 形名: RDT232WM-Z(BK)
  - 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
  - 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
  - 使用状況  
(PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、  
解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など)
  - 購入年月日または使用年数
- 無料出張サービス規定  
この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット (現品とは異なる場合があります。) を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

### 個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
    - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
    - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の取り扱い

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

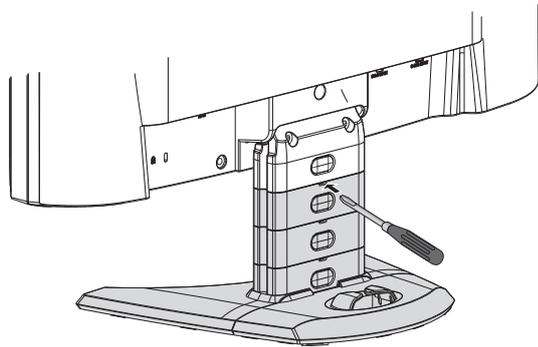
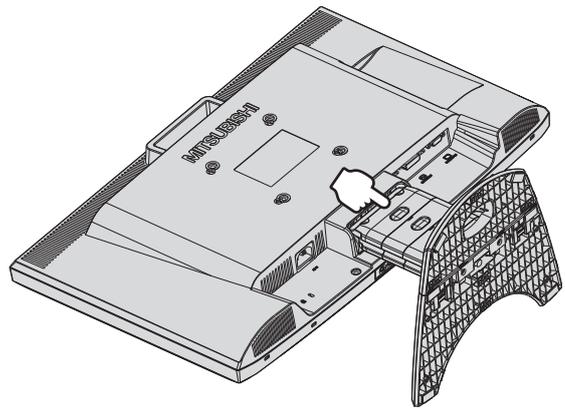
## 再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。

水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。  
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で押し  
ながらベース部（ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたもの）  
を外してください。  
取り外したベーススタンドとブロックネックは分離して再梱包し  
てください。

### お知らせ

- ブロックネックが容易に引き抜けない場合は、ブロックネック背面の凹穴にマイナスドライバーを差し込んで分離させてください。



### ⚠ 注意

- 表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷付けないように注意してください。

### お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないようにしてください。

## 市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA規格に準拠した(100 mmピッチ)市販のアームを取り付けることができます。

### お願い

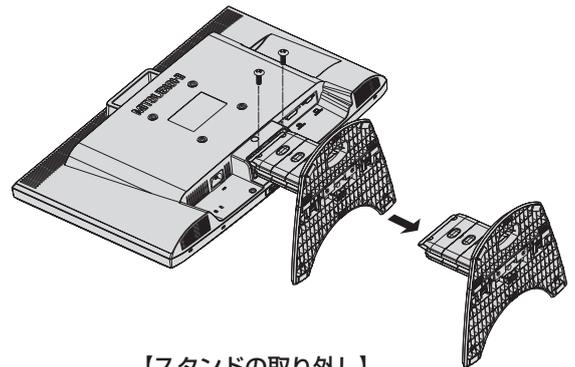
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。(本機のディスプレイ部の質量は約 5.6 kg です。)

### お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

### ■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切つてから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。  
その後、本体側のスタンドネックを取り付けている2本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。



【スタンドの取り外し】

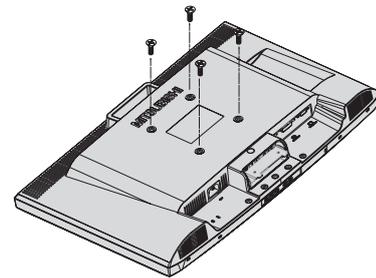
### お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

- 2 アームを取り付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

### お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



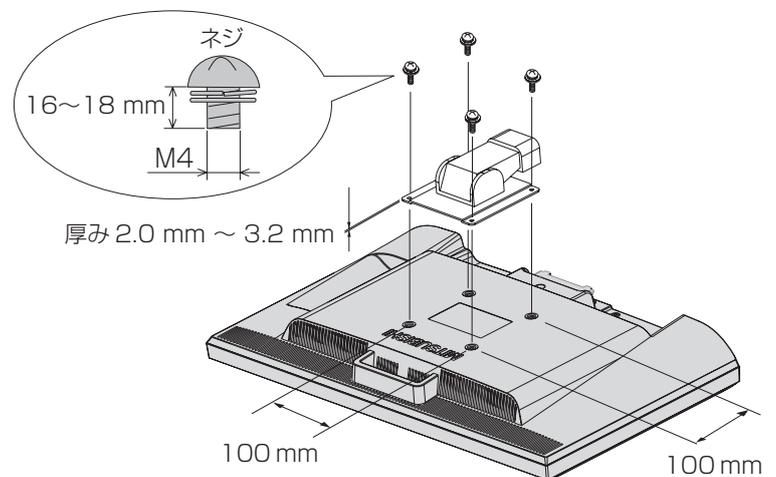
【VESA穴ネジの取り外し】

- 3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0 mm ~ 3.2 mm  
VESA規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締め付けてください。  
(但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98~137 N・cmが適切な締め付トルクです。)



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

市販のアームを取り付けるとき (つづき)

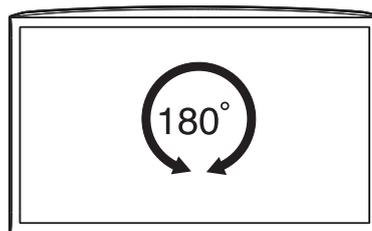
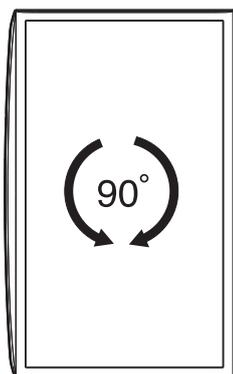
**⚠ 注意**

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。緩み止めスプリングワッシャ付きM4ネジ (長さ16~18 mm)
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90°回転や180°回転した状態でご使用しないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



もくじ

ご使用前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

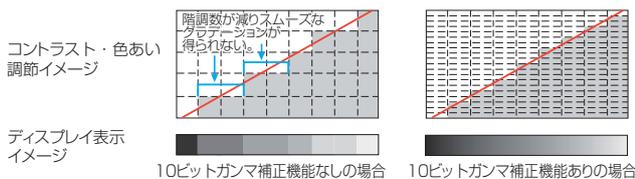
用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

10ビットガンマ機能

P3

RGB各色256階調の映像信号に、10ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。より高精度なコントラスト・色あい補正を行うことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度に行うことができます。



CRオプティマイザー (Contrast Ratio Optimizer)

P32

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B規格 (Display Data Channel)

P44

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI規格

P41

(Display Data Channel Command Interface) ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management)

P44

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE)

P12、30

表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analogue)

P18

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital)

P17、18

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated)

P17、18

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

Dコントラスト (DYNAMIC CONTRAST)

P31

映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれがちになります。それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

D端子

P20

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を1本のケーブルで接続できます。本機にはD5映像端子が搭載されており、D1からD5までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525本	480本	インターレース
D2 (525p)	480p	525本	480本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125本	1080本	インターレース
D4 (750p)	720p	750本	720本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125本	1080本	プログレッシブ

GTG (Gray to Gray)

P57

表示画面を変化させた時に、画面が切り替わる早さ (追従性) を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度 (GTG) と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)

P57

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

P17、18、20

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

I/P変換

P56

画面に表示するための走査方式を、インターレース方式からプログレッシブ方式に変換することです。

LEDブライトネス

P41

電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play

P44

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格

P31、32

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association)

P44

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

もくじ  
ご使用の前に  
安全のために  
使用上のお願い  
各部のき  
使用の準備  
機能  
困ったとき  
付録  
解用説語  
いさんく

用語解説 (つづき)

**位相 P33**  
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

**インターレース P55**  
1つの画面(フレーム)を1ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

**オーバースキャン P34**  
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。(はみ出した部分は、画面には表示されません。)通常のテレビは、オーバースキャンの状態では調節されていません。

**輝度 P57**  
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

**コントラスト比 P57**  
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

**コンポーネント映像信号(YPbPr信号) P20**  
映像信号を輝度信号(Y)と、色系統信号(赤系(Pr)/青系(Pb))に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色のにじみなど画質の悪化を抑えることができます。

**サイドカラー P41**  
アスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節する機能です。

**サラウンド P35**  
聴覚の特性(いわゆる錯覚)を利用してステレオ環境だけでも多チャンネルの音に囲まれるような音響効果を再現する技術です。

**残像 P46**  
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

**視野角 P46、57**  
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

**水平周波数/垂直周波数 P43、57**  
水平周波数: 1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。

垂直周波数: 1秒間に画面を何回書替えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書替えているということです。

**超解像 P12、31、38**  
「擬似解像度変換」「ダイナミックコントラスト補正」「局所コントラスト」「階調数拡張処理」「ノイズリダクション」「色域変換」の複合でより解像度感を高めた画像に変換する技術です。

**チルト角度 P23、57**  
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

**ノータッチオートアジャスト/NTAA (No Touch Auto Adjust) P44**  
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

**ノイズリダクション P31**  
映像の細かいざらつき(ノイズ)を低減します。

**パワーマネージメント機能 P44**  
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない(一定時間以上キー入力がないなど)場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

**フィルムモード P31**  
1秒24コマのフィルムから1秒60フィールドのテレビ映像に変換された映画番組や映画ソフトを自動的に検出し、適切なI/P変換をおこなうことにより、映画本来の映像を再現します。

**表示画素数/解像度 P43、57**  
一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

**プログレッシブ P55**  
1つの画面(フレーム)を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

よく

よく使われる

安全のため

よく使われる

各部

よく使われる

機能

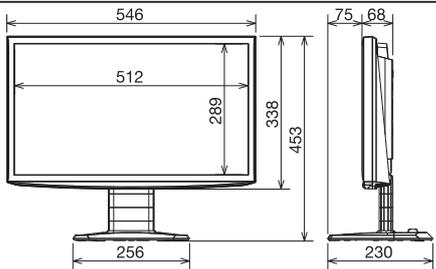
よく使われる

よく使われる

よく使われる

よく使われる

仕様

形名		RDT232WM-Z (BK)	
外形寸法 (mm)			
液晶パネル	サイズ (表示サイズ)	23型 (58.4 cm)	
	液晶方式	TN、グレア (光沢)	
	有効表示領域	509.8×286.7 mm	
	表示画素数	1920×1080	
	画素ピッチ	0.266 mm	
	表示色	約1677万色 (約10億6433万色中)	
	視野角	左右 160°、上下 160° (コントラスト比10)	
	輝度 (標準値)	300 cd/m <sup>2</sup>	
	コントラスト比	5000 : 1 (CRO非動作時 1000 : 1)	
応答速度	3 ms (GTG) *1		
PC入力	水平周波数	31.5~82.3 kHz	
	垂直周波数	56~76 Hz	
	ビデオ信号	デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号	デジタル入力: TMDS アナログ入力: セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクタ	デジタル入力: DVI-D (HDCP対応)、HDMI (2系統) アナログ入力: ミニD-SUB15ピン	
ビデオ入力*2	解像度	480i、480p、1080i、720p、1080p	
	信号入力コネクタ (PC入力コネクタと共用)	HDMI×2系統: デジタルRGB、デジタルYPbPr対応	
	信号入力コネクタ	D5端子	
音声入出力	入力コネクタ	φ 3.5 mm ステレオミニジャック、RCAピンジャック(L/R)	
	スピーカー	3 W+3 W (ステレオ)	
	ヘッドホン	φ 3.5 mm ステレオミニジャック	
適合規格等	安全	電気用品安全法、S-TÜV	
	不要輻射	VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	省エネルギー基準	-	
	エルゴノミクス	ISO13406-2 (準拠)	
	ブラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	PCグリーンラベル (★★☆ 2010年度版) J-Mossグリーンマーク、DDC/CI、Windows® 7	
使用環境条件	温度	5~35 °C	
	湿度	30~80% (結露の無いこと)	
電源	電源入力	AC 100 - 240 V、50/60 Hz	
	消費電力	標準	72 W
		省エネモード	スリープモード時: 1 W以下 (AC100 V時) オフモード時: 1 W以下 (AC100 V時)
	電源入力コネクタ	3P IECタイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 6.1 kg
		スタンドなし	約 5.6 kg
キャビネット色	ブラック		
梱包状態 (質量/寸法)	約 7.5 kg/606 (W)×407 (H)×143 (D) mm		
チルト角度/スイーベル角度/高さ調節	上20°、下5°/機能なし/ブロックネック×3 (30 mm/段)		

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
  - 本機は、解像度1920×1080以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
  - 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
  - 付属の電源コードは、国内100V商用電源対応品です。
  - 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- \*1 特定階調レベル間 (例: 0, 31, 63, 95, 127, 159, 191, 223, 255) の各応答速度の平均値です。  
\*2 安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部分のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさんく

さくいん

英数字

2画面	37
BLUE	35
CRO(コントラストオフタイマー)	32
D5端子、D端子	11,20,55
DDC 2B規格	44,55
DDC/CI	41
DDC/CI 規格	55
DPM	44,55
DVI-D端子	17,18,55
DVI-I 端子	17,18,55
DVI-D-DVI-Dケーブル	4,17,18
DV MODE	12,31
Dコントラスト	31
ECO PROF.	27,40
ECO設定	27,40
ECOメーターシースルー	27,40
ECOメーター表示	27,40
GREEN	35
GTG	55,57
HDMI端子	11,17,18,20,55
INPUT/EXITボタン	10,25,27,29
LANGUAGE	40
LEDブライトネス	41
Macintosh	4,18
MENU/マボタン	10,25,27,28,29
MENU/EXITボタン	12,25,27,29
NTAA (No Touch Auto Adjust)	44,56
NO SIGNAL	48,49
OSD画面の構成	28
OSDの基本操作	29
OSD機能一覧	31~42
OSD表示時間	41
OSD水平位置	41
OSD垂直位置	41
OUT OF RANGE	48
PC入力自動切替	41
Plug & Play	44,55
RED	35
VESA 規格	44,53,55
Windows® セットアップ情報	26
◀、▶ボタン	10,25,27,28,29

あ

アースリード線	5,22
明るさセンサー	10,41
アスペクト比	34
アフターサービス	51
安全のために必ずお守りください	5~7
位相	33,56
色あい	32
色温度	35
色のかさ	32
映像モード	31
オートコントラスト	32
オーバースキャン	34
オーディオケーブル	4,19
オールリセット	41
応答速度	55,57
おすすめ音量	35
オフタイマー	40
音声	35
音声選択	36
音量	36

か

外形寸法	57
回収	50
解像度	43,56,57
解像度切替	34
拡大・スムージングファイン機能	44

角度を調節する	23
各部のはたらき	10~13
画素ピッチ	57
画面サイズ	33
画面に何も映らない	45
カラー	35
簡易表示機能	44
ガンマ	3,55
輝度	56,57
クリアボイス	35
グループ	28
グループの構成	30
黒白伸張	32
ケーブルホルダー	11,22
言語	41
高音	35
工場プリセットタイミング	43
子画面位置	37
子画面サイズ	37
子画面選択	37
黒点/輝点	46
故障かな?と思ったら	45~49
個人情報の取り扱い	51
コネクタとケーブルの対応表	18
困ったとき	45~49
コントラスト	32
コントラスト比	56,57

さ

サイズ位置	33
サイズカラー	41,56
再梱包するとき	52
サラウンド	35,56
残像	8,46,56
質量	57
自動調節	25,33
シネマモード	31
市販のアームの取り付けるとき	53
視野角	57
シャープネス	31
修理相談窓口	51
仕様	57
省エネ電力量リセット	40
消音	36
使用環境条件	57
使用上のお願ひ	8,9
消費電力	44,57
情報	42
信号ケーブル	17~20
信号ケーブルを接続する	17~20
信号入力コネクタ	11,57
推奨信号タイミング	43
垂直位置	33
垂直周波数(リフレッシュレート)	43,56,57
水平位置	33
水平サイズ	33
水平周波数	43,56,57
スタンド	10,15,16,52,53
スピーカーから音が出ない!	48
スリープモード	44
スルーモード	34
接続	17~20
設置する	23
セットアップガイド	4
操作ボタン	10
操作ロック	41

た

ダイナミックコントラスト	31
超解像	3,32,56
超解像モード	31,38
ちらつく	45,47

チルト角度	23,57
ツール	40
低音	35
適合規格等	57
テストパターン	24
電源コード	4,21,22
電源自動オフ	40
電源スイッチ	10
電源電圧	22,57
電源入力コネクタ	11,21,57
電源プラグ	22
電源容量	21
電源ランプ	10,44
電源を入れる	25
電源を接続する	21
盗難防止用ロック穴	11
同期信号	43,57

な

入力信号	42
ノータッチオートアジャスト機能	44,56
ノイズリダクション	31

は

廃棄する	50
倍速クリアピクチャー	31
バックライト	45
バランス	35
パワーマネージメント機能	44,56
表示色	46,47
表示画素数	56
表示状態がおかしい	46,47
表示されない	45,46,49
ビデオ信号	57
付属品	4
ブライトネス	31
ブラックレベル	32
ブロックネック	4,15,16,57
付録	52~59
ベーススタンド	4,15,16,52
ヘッドホン端子	10,21
ヘッドホンを接続する	21
ホットキー	41
本体正面	10
本体背面/側面	11
変換アダプター	17,18
保証とアフターサービス	51
保証書	4,51

ま

ミニD-SUB15ピン	4,11,17,18
モニター情報	42

や

ユーザーメモリー機能	43
有効表示領域	57
用語解説	55

ら

リサイクル	50
リセット(映像モード)	32
リセット(サイズ位置)	34
リモコン	12,13
リモコン受光部	10
ロックアップモード	32
ロックの解除	41

よく

ご使用の

安全の

使用上の

各部の

使用の

機能

困った

付録

解説

いさく

もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために…

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

用語  
解説

いさく



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

AW-P0866B